



X-config – General Purpose Configure
To Order (CTO) – クラスタ – サポート・オフ
トレーニング v2

Bill Luken (wluken@Lenovo.com) 2015 年 1 月 9 日

x-config Configure To Order (CTO) - (クラスター・サポート・オフ)

- このトレーニング・モジュールでは、Flex System や BladeCenter の Configure to Order (CTO) 汎用ソリューションを構築し、さまざまな出力フォーマットを生成する方法について説明します。
- このモジュールでは、x-config の Intelligent Cluster (クラスター・サポート・オン) 機能については取り上げません。
- 以下のスクリーン・ショットでは、サーバーやオプションに A、B、C、D の指定子が付いています。サプライ・チェーンや、その後の保守性、お客様の満足度レベルの向上に向けた継続的な取り組みの一環として、Lenovo は、すべての製品についてより正確なリード・タイムの予測を可能にし、最も人気の高い製品について出荷の迅速化を可能にする「Lenovo HVSC - ABCD Classification」と呼ばれるパーツ分類モデルへと移行しました。以下のように「A」から「D」までの指定子により、構成済みソリューションの出荷がいつ開始されるのかが示されます。構成の出荷開始は、出荷までに最も長い時間を要するコンポーネント機能の出荷開始に合わせて調整されます。構成の出荷開始を評価する際、出荷開始がわかる機能のみが考慮されます。
 - 「A」 – すぐに出荷開始; オーダーから出荷まで最大 7 営業日
 - 「B」 – 標準の出荷開始; オーダーから出荷まで最大 12 営業日
 - 「C」 – 特別オーダー; オーダーから出荷まで最大 15 営業日
 - 「D」 – さらに長期のリード・タイム/入手困難
 - 「 」(空白、コードなし) - 出荷開始の情報は提供されません
- 2014 年 10 月、x-config に PureFlex System ソリューションが追加されました。
- 事前構成されたモデルを使用して Build to Order (BTO) ソリューションを実行する必要がある場合は、[SSCT](#) を参照してください。

x-config – 「Intelligent Cluster」(クラスター・サポート・オン) を選択した状態のスターター画面 – このトレーニングでは、フォーカスしません



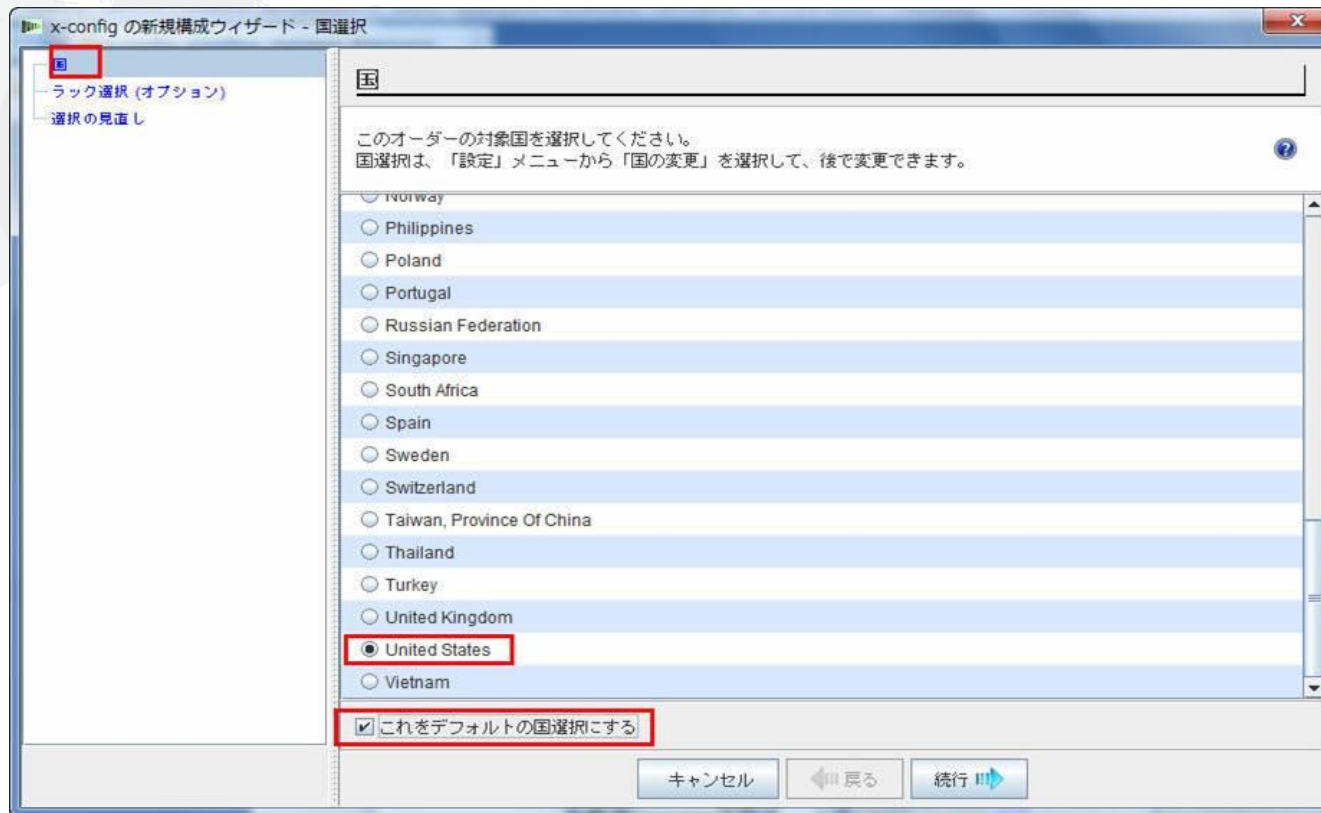
- これは、「クラスター・サポート・オン」を選択した状態のスターター画面です。ご覧のように、さらに多くのオプションを備えており、iDataPlex、Intelligent Cluster、その他の複雑な統合ソリューションの構成が行えます。(このトレーニング・モジュールでは、フォーカスしません)

x-config – 「汎用」 (クラスター・サポート・オフ) を選択した状態のスターター画面



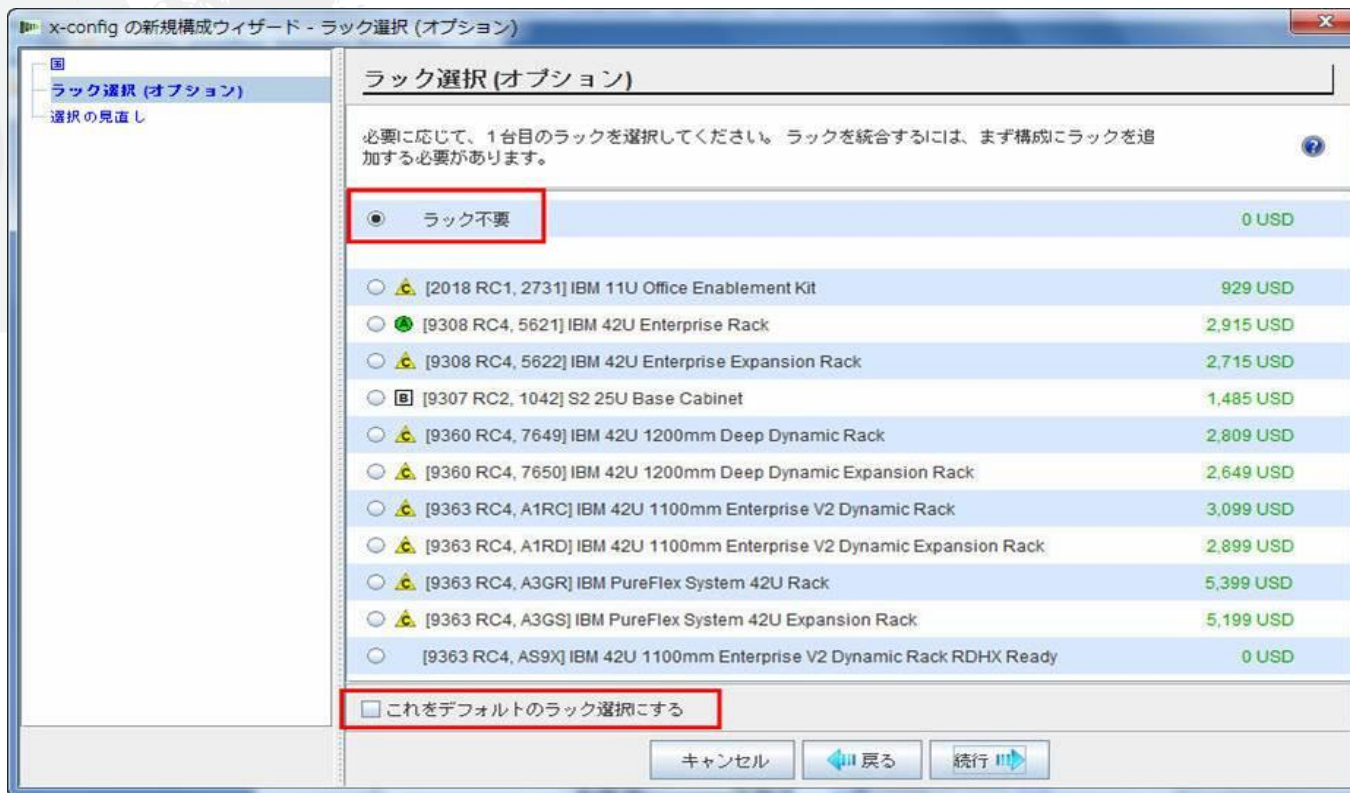
- これは、スターター画面です。ここで、構成タイプを選択できます（「汎用」または「PureFlex System」がクラスター・サポート・オフのオプション）。その後、「新規構成」を作成するか、「構成を開く」を選択します（.CSE ファイルを使用）。これは、System x と Flex CTO モードです。
 - これは、「クラスター・サポート・オフ」を選択した状態の表示です。
 - このトレーニング・モジュールでは、「クラスター・サポート・オフ」のみを対象とします。

x-config – 「新規構成」の「国選択」



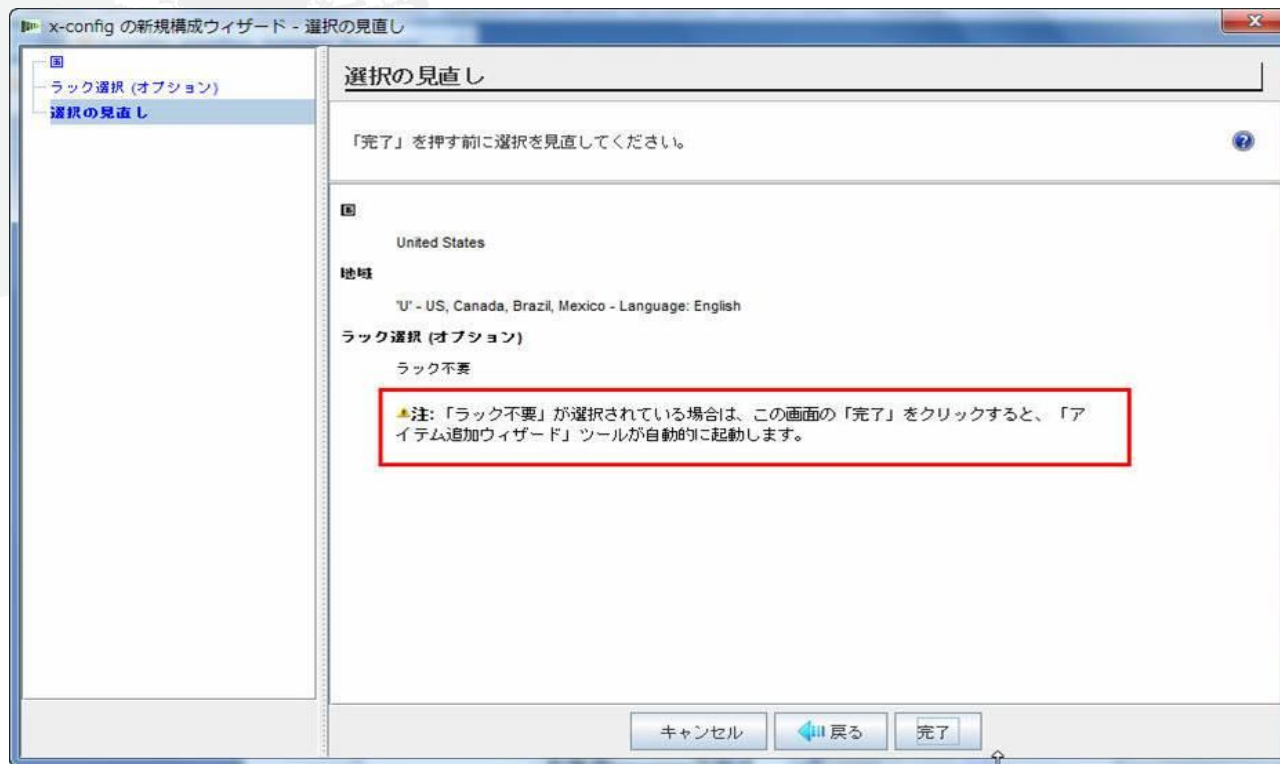
- スターター画面で「新規構成」を選択した後、自分の国をここで選択します。「これをデフォルトの国選択にする」にチェック・マークを付けることもできます。したがって x-config では、常にアメリカ合衆国または選択した国がデフォルト設定になります。

x-config – 「新規構成」の「ラック選択」



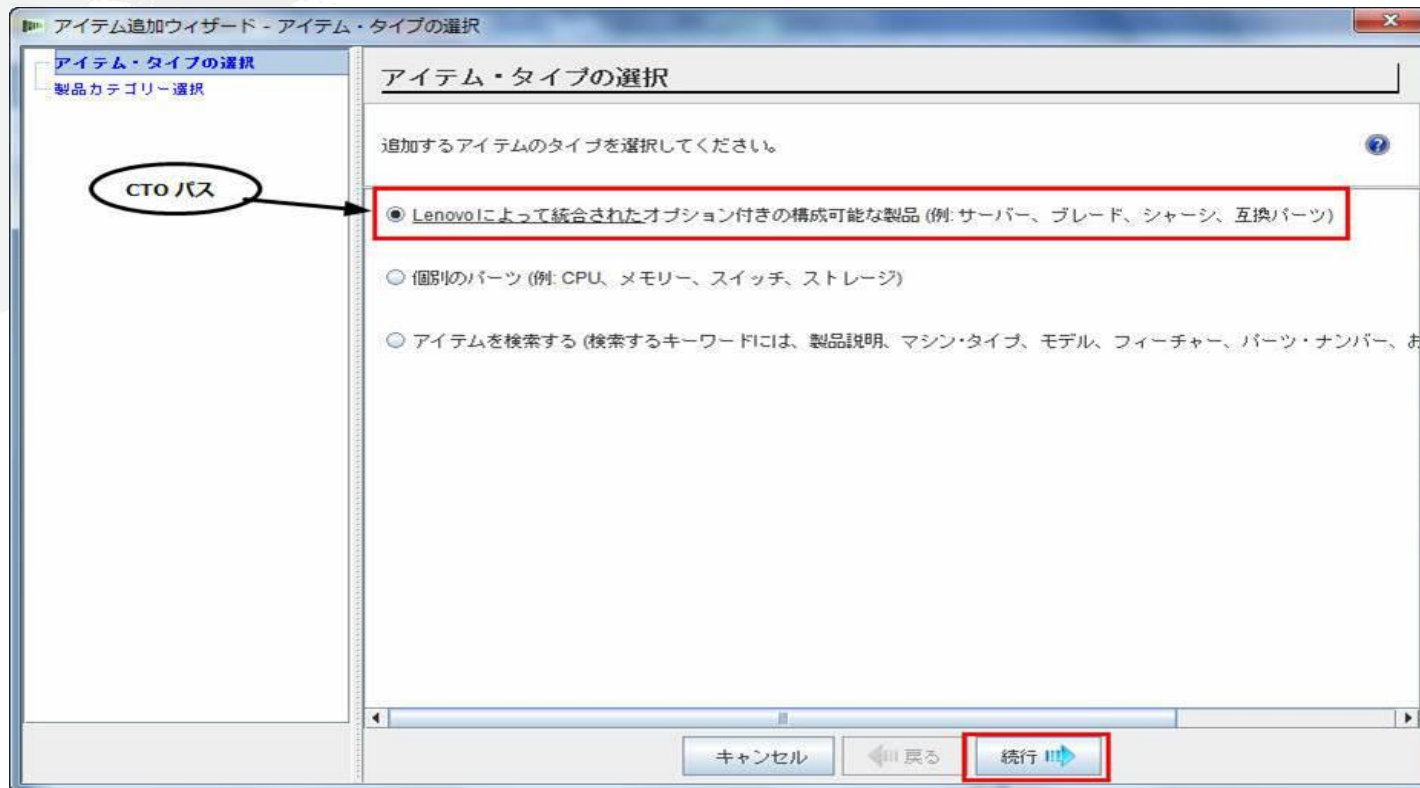
- 次に、ラック・ソリューションが必要であるか、独立型の製品の構成のみを行うのかを選択します。「これをデフォルトのラック選択にする」にチェック・マークを付けることもできます。したがって x-config では、常に「ラック不要」がデフォルト設定になります。

x-config – 「新規構成」の「選択の見直し」



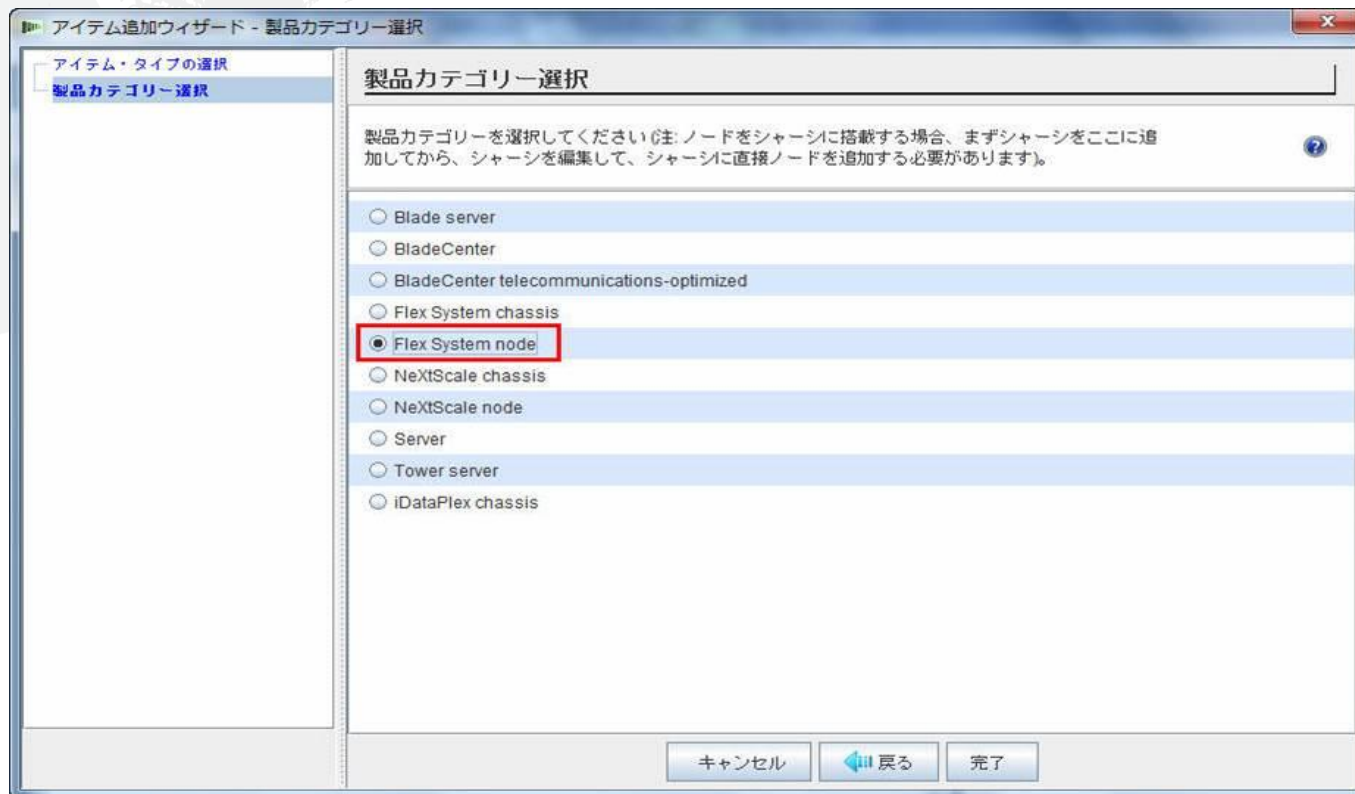
- 次は「選択の見直し」です。前の画面で「ラック不要」を選択しました。「ラック不要」を選択すると、「完了」をクリックした後に「アイテム追加」ウィザードが自動で開始されます。

x-config – 「アイテム・タイプの選択」



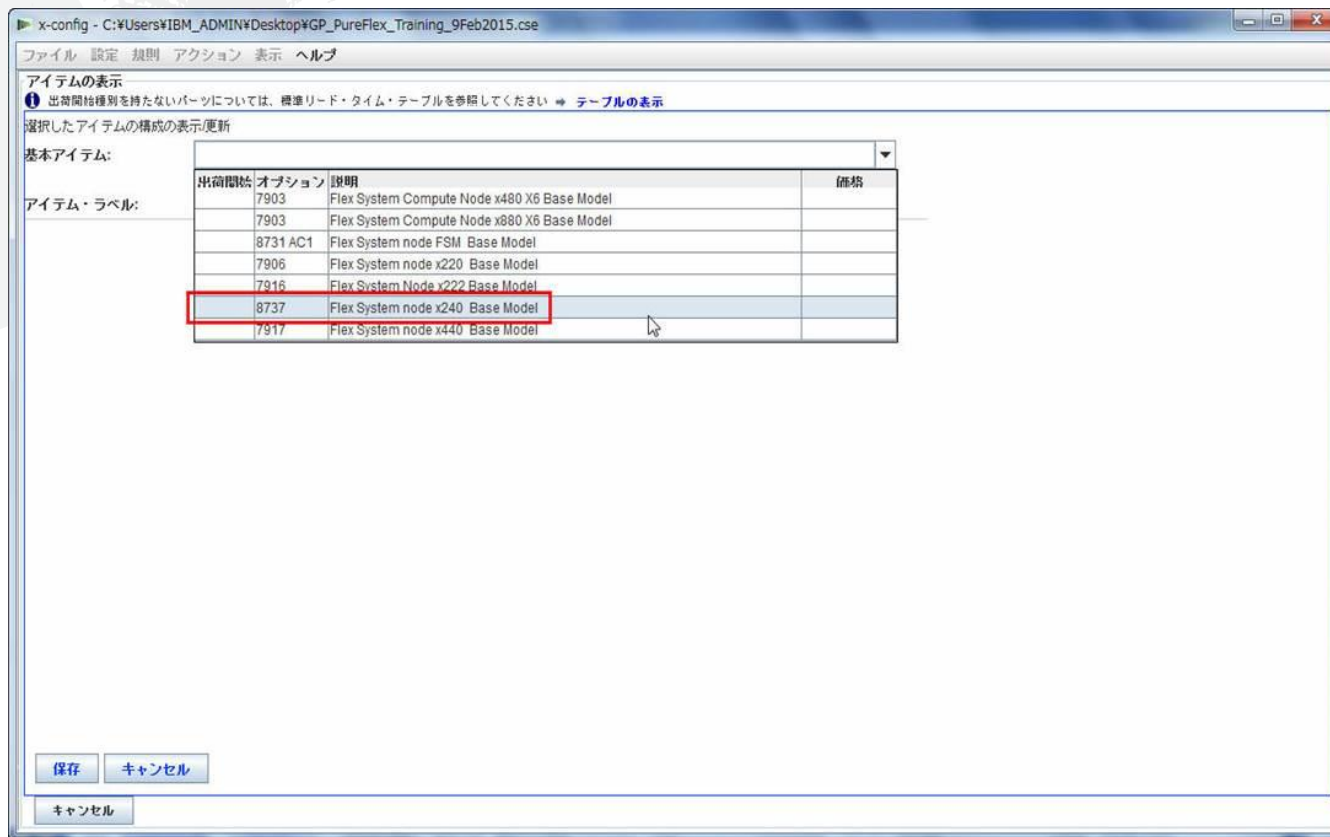
■ これは、「アイテム追加ウィザード」画面です。ここでは、「Lenovo で組み立てを行う本体製品とそのオプション・パーツ製品」(CTO パス) を選択します。2013 年 3 月以前の x-config は、SSCT と同様の GAV (Generally Announced Variants) モデルの構築をサポートしていましたが、現在、この機能は削除されています。「続行」をクリックします。

x-config – 「製品カテゴリ選択」



- これは、「製品カテゴリ選択」画面です。ここでは「Flex System node」を選択しますが、「Blade server」、「BladeCenter」、「BladeCenter Tele」、「Flex System chassis」、「Server」、「Tower server」、「NeXtScale chassis」、「NeXtScale node」、「iDataPlex chassis」を選択することもできます。選択してから「完了」をクリックします。

x-config – 「新規構成」の「基本アイテムを選択する」



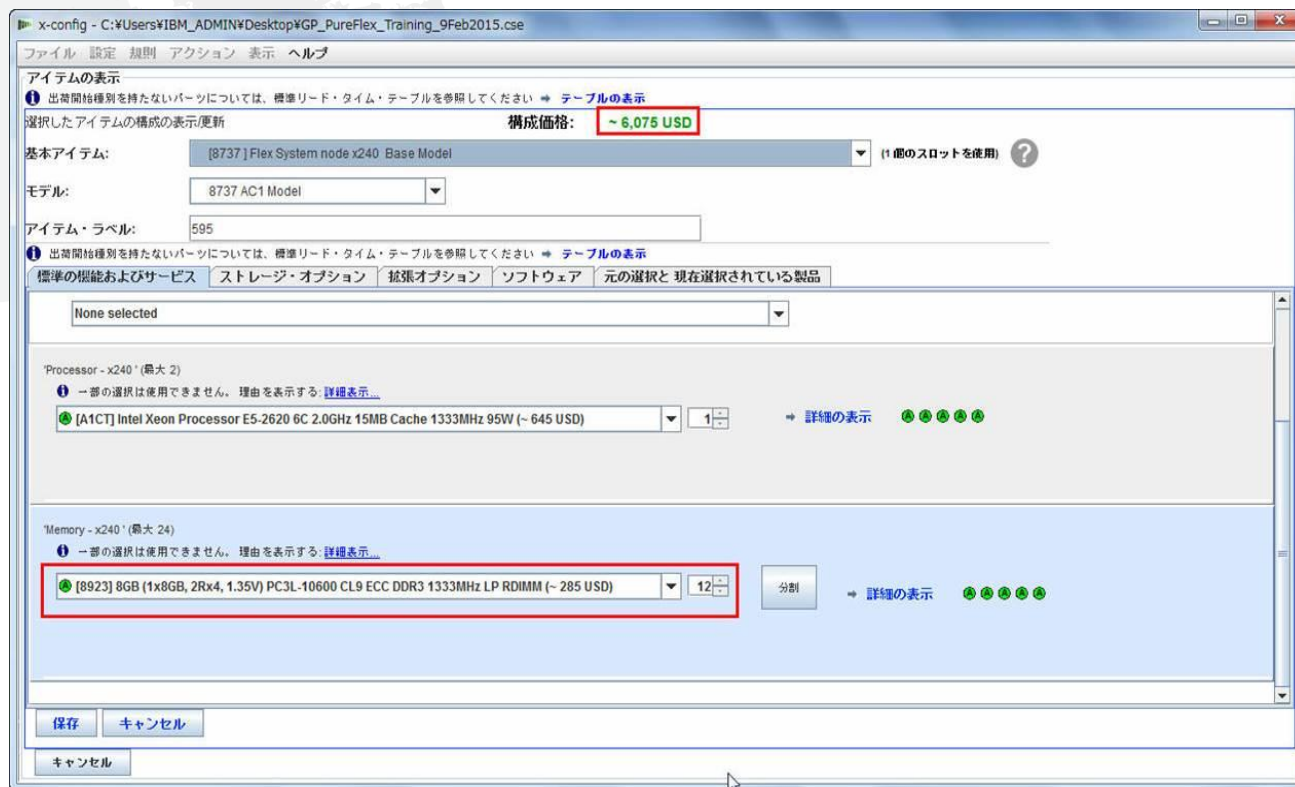
■ これは、「新規構成」の Flex System ノード製品のスクリーン・ショットです。ここで、「基本アイテム」ドロップダウンから「8737, Flex System node x240 Base Model」を選択しました。FSM や Flex System V7000 を構成することもできます。選択を行うと、構成ウィザードにより、さまざまな属性が画面に表示され、x240 をさらに構成することができます。

x-config – 「新規構成」の「標準の機能およびサービス」タブ



この構成画面では、「基本アイテム」や「モデル」を変更したり、「アイテム・ラベル」を入力したりできます。画面中央にあるタブを使用して、x240 AC1 のオプションをここで構成できます。構成にオプションを追加すると、画面上部に表示されている価格が更新されます。ここでは、保証のアップグレードを選択しました。また、オプションの ABCD コードも表示されます。今回の場合、選択したプロセッサはコード A (すぐに出荷開始) です。「モデル」ドロップダウンで 8737 MC1 モデルを選択することもできます。MC1 モデルは、Microsoft OS を必要とするソリューションで使用されます。「新規構成」画面でタブ間を移動していきます。

x-config – 「新規構成」の「標準の機能およびサービス」タブ



- 「標準の機能およびサービス」タブで、ドロップダウン・ボックスからメモリーを「FC 8923 8GB LP RDIMM」に変更し、数量 12 を選択しました。また、選択内容に合わせて「構成価格」が変更されていることにも注目してください。

x-config – 「新規構成」の「ストレージ・オプション」タブ

アイテムの表示
 出荷開始種別を持たないパーツについては、標準リード・タイム・テーブルを参照してください → テーブルの表示
 選択したアイテムの構成の表示/更新 構成価格: ~7,313 USD

基本アイテム: [8737] Flex System node x240 Base Model (1個のスロットを使用) ?
 モデル: 8737 AC1 Model
 アイテム・ラベル: 595

標準の構成およびサービス ストレージ・オプション 拡張オプション ソフトウェア 元の選択と現在選択されている製品

Integrated RAID* (必要数量 1)

出荷開始	オプション	説明	価格
2212		Custom RAID Configuration	~250 USD
5977		Select Storage devices - no Lenovo-configured RAID required	
5978		Select Storage devices - Lenovo-configured RAID	

HDD 1.8"

[A4FT] S3700 400GB SATA 1.8" MLC Enterprise SSD for IBM System x (~2659 USD) 0 分割 → 詳細の表示 現在選択済みのアイテムを検査する

SFF Slim SAS SATA

[A1P3] IBM 1TB 7.2K 6Gbps NL SAS 2.5" SFF HS HDD (~619 USD) 2 分割 → 詳細の表示

保存 キャンセル
 キャンセル

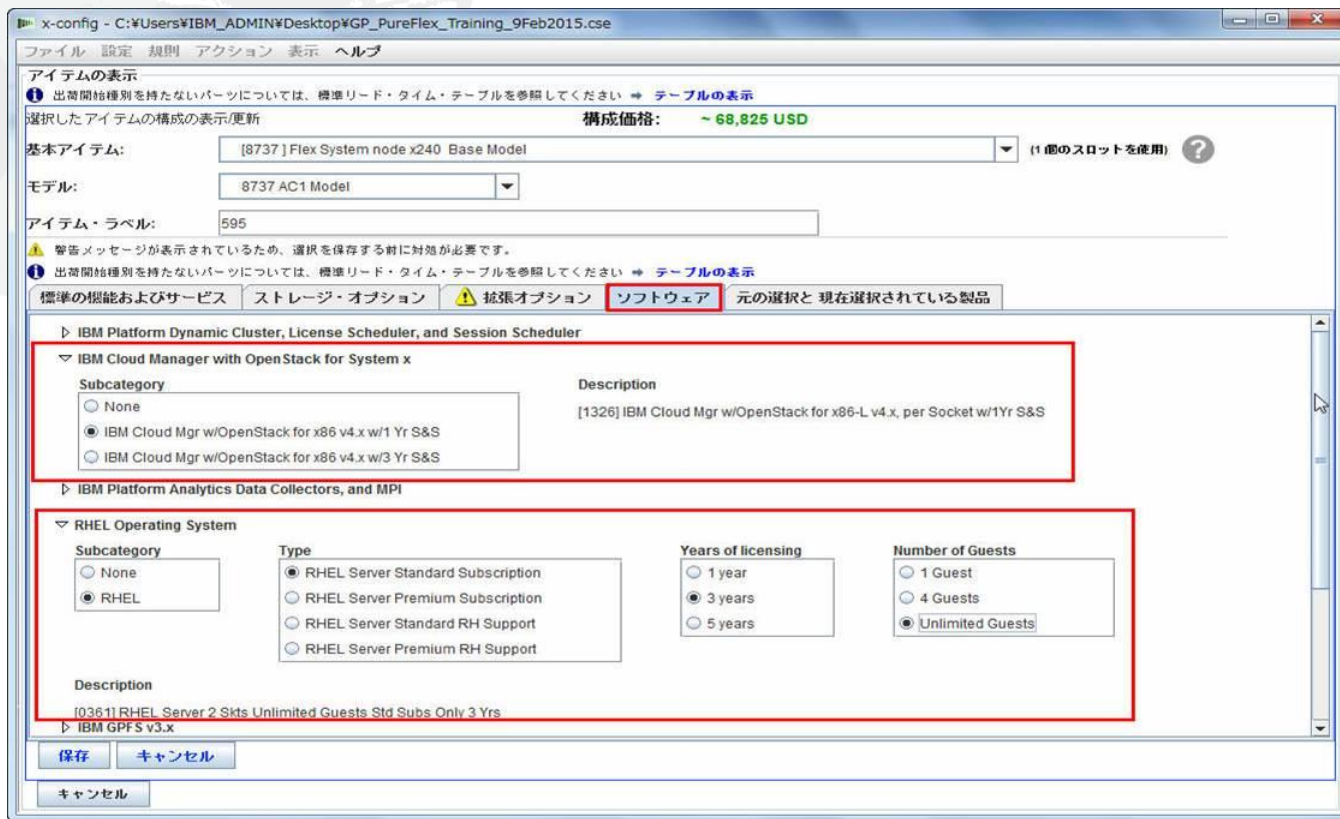
■ 「ストレージ・オプション」タブで、「FC 5977 No IBM-configured RAID required」を選択しました。「FC 2212 Custom RAID Configuration」などの他の選択を行うこともできます。その後、HDD を選択しました。

x-config – 「新規構成」の「拡張オプション」タブ



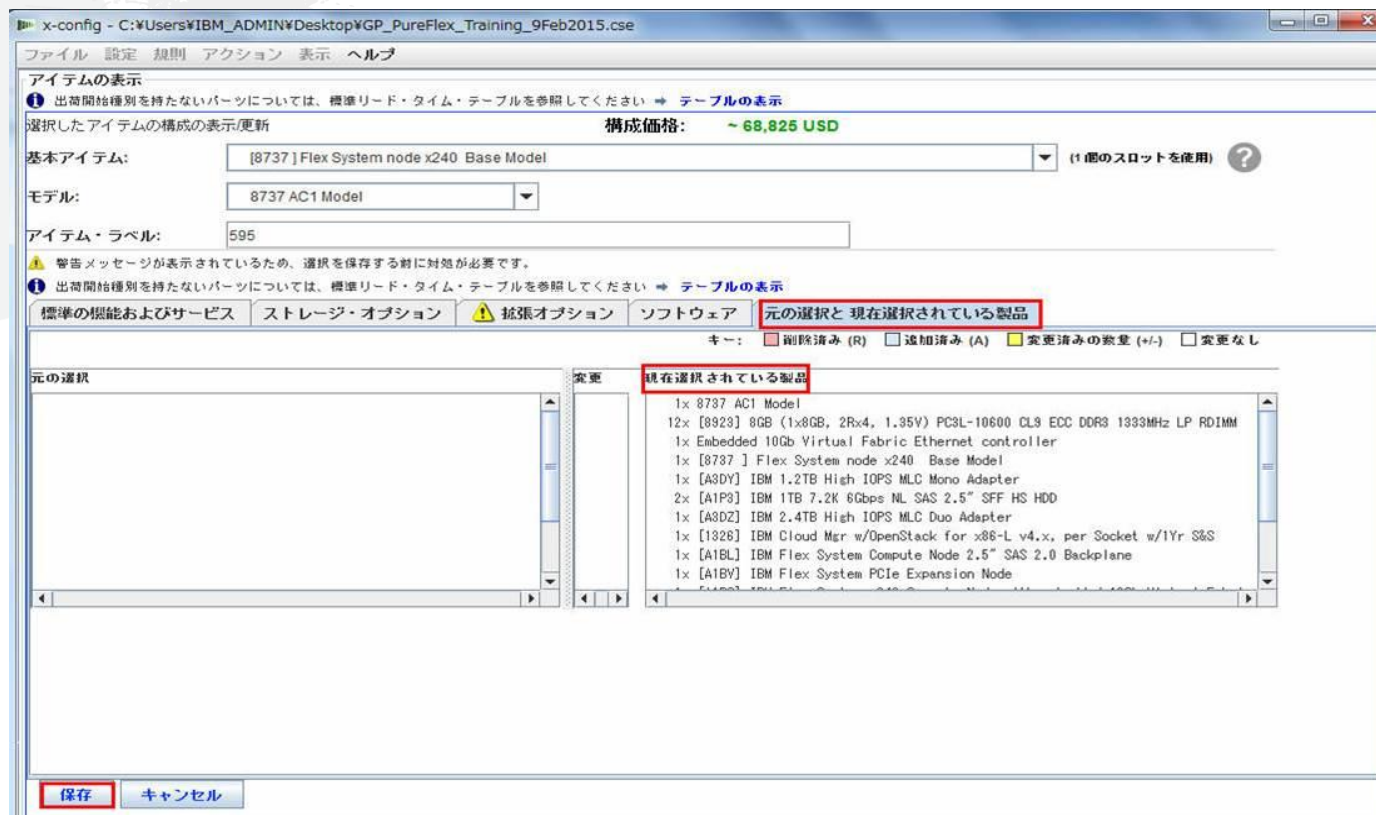
「拡張オプション」タブでは、「拡張ユニット」で「IBM Flex System PCIe Expansion Node」を選択しましたが、「IBM Flex System Storage Expansion Node」を選択することもできます。また、「FC A3DZ IBM 2.4TB High IOPS MLC Duo Adapter」と「FC A3DY IBM 1.2TB High IOPS MLC Mono Adapter」を追加しました。さらにスクロールダウンすると、「VAO サービス」の選択項目がいくつか表示されます。また、国選択で US を選択した場合の「システムの文書化」は「US 英語」のみとなりますが、国選択に応じて他の選択が可能になります。

x-config – 「新規構成」の「ソフトウェア」タブ



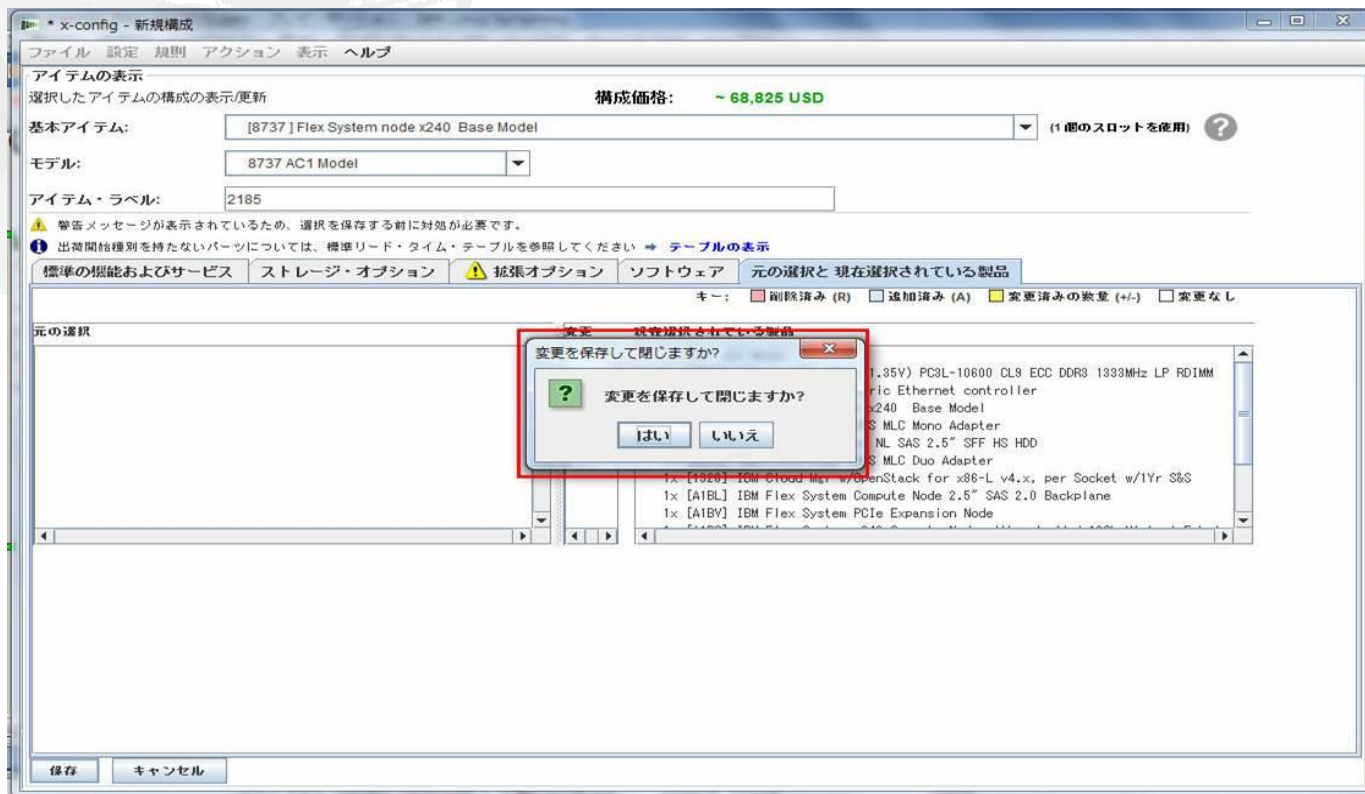
- 「ソフトウェア」タブで、「IBM Cloud Manager w/OpenStack for x86 v4x w/1 Yr S&S」と「RHEL Operating system」を選択しました。Flex System 互換ソフトウェアでは、他の多くのオプションが選択可能です。

x-config – 「新規構成」の「元の選択と現在選択されている製品」タブ



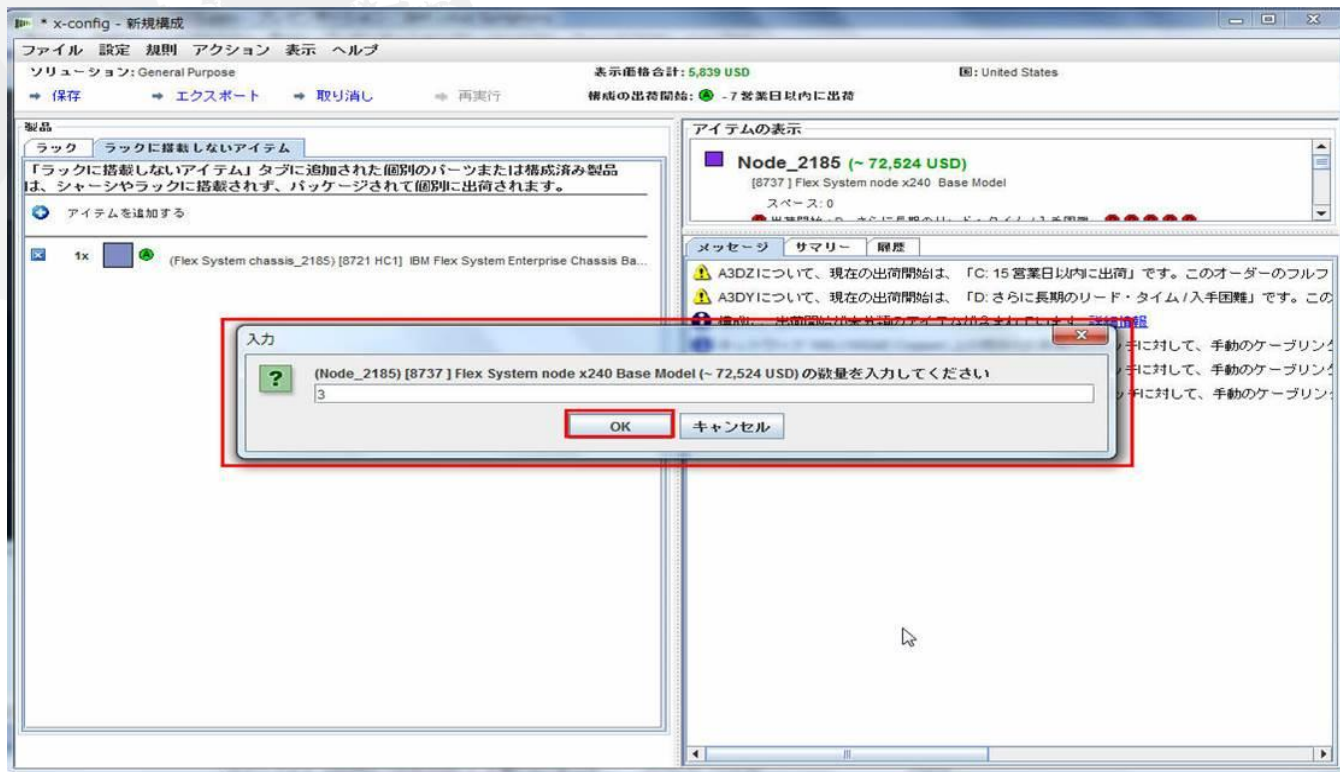
「元の選択と現在選択されている製品」タブでは、構成中にオプションとして選択した内容を確認できます。保存して再度開き、構成の変更を行うまでは「変更」は何も表示されません。必要なオプション/製品の構成の選択をすべて終えたら、「保存」をクリックしてウィザードを終了します。

x-config – 「新規構成」の「保存」



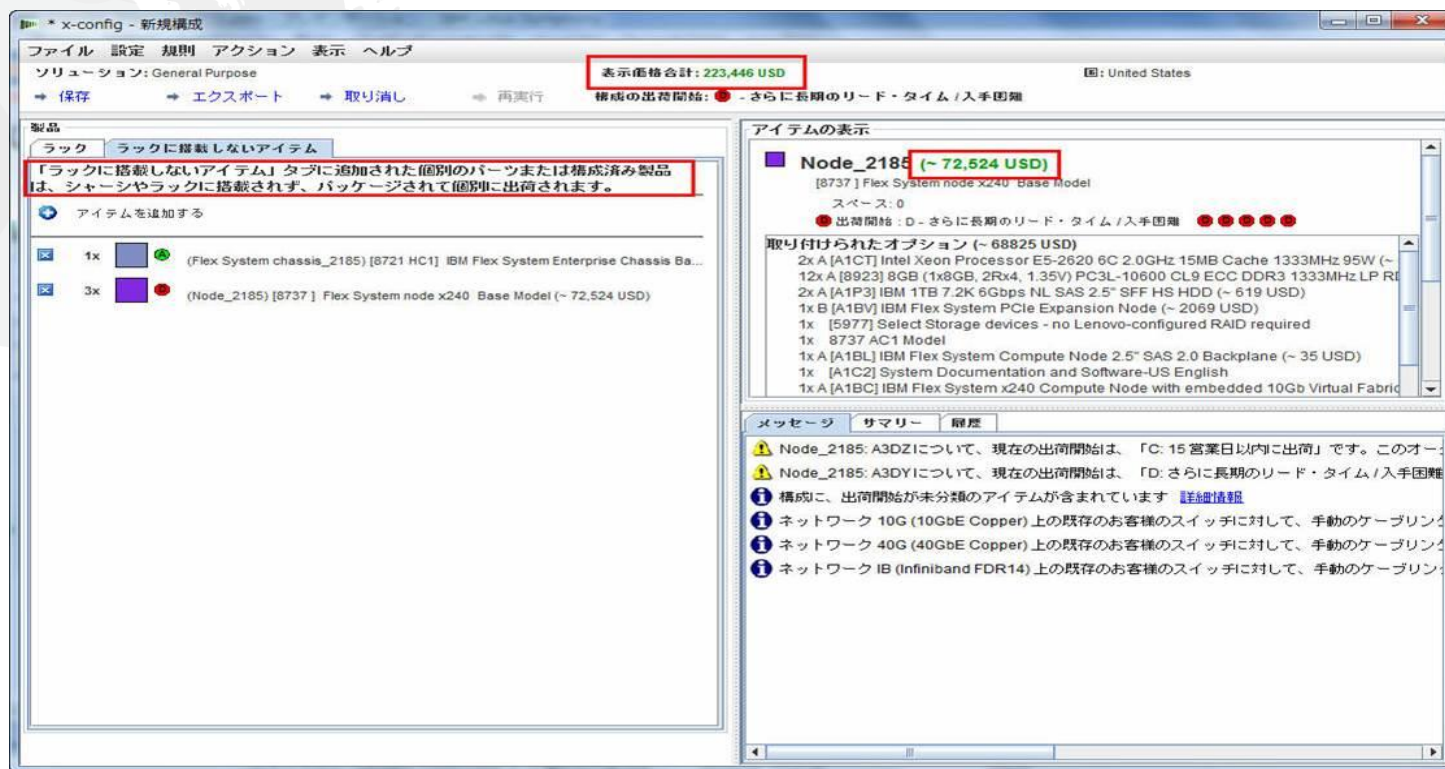
- 「保存」をクリックすると、エラーが含まれているために戻って修正する必要があることを示すポップアップが表示されるか、「変更を保存して閉じますか?」と尋ねるポップアップ・ボックスが表示されます。「はい」をクリックします。

x-config – 「新規構成」の「数量を入力する」



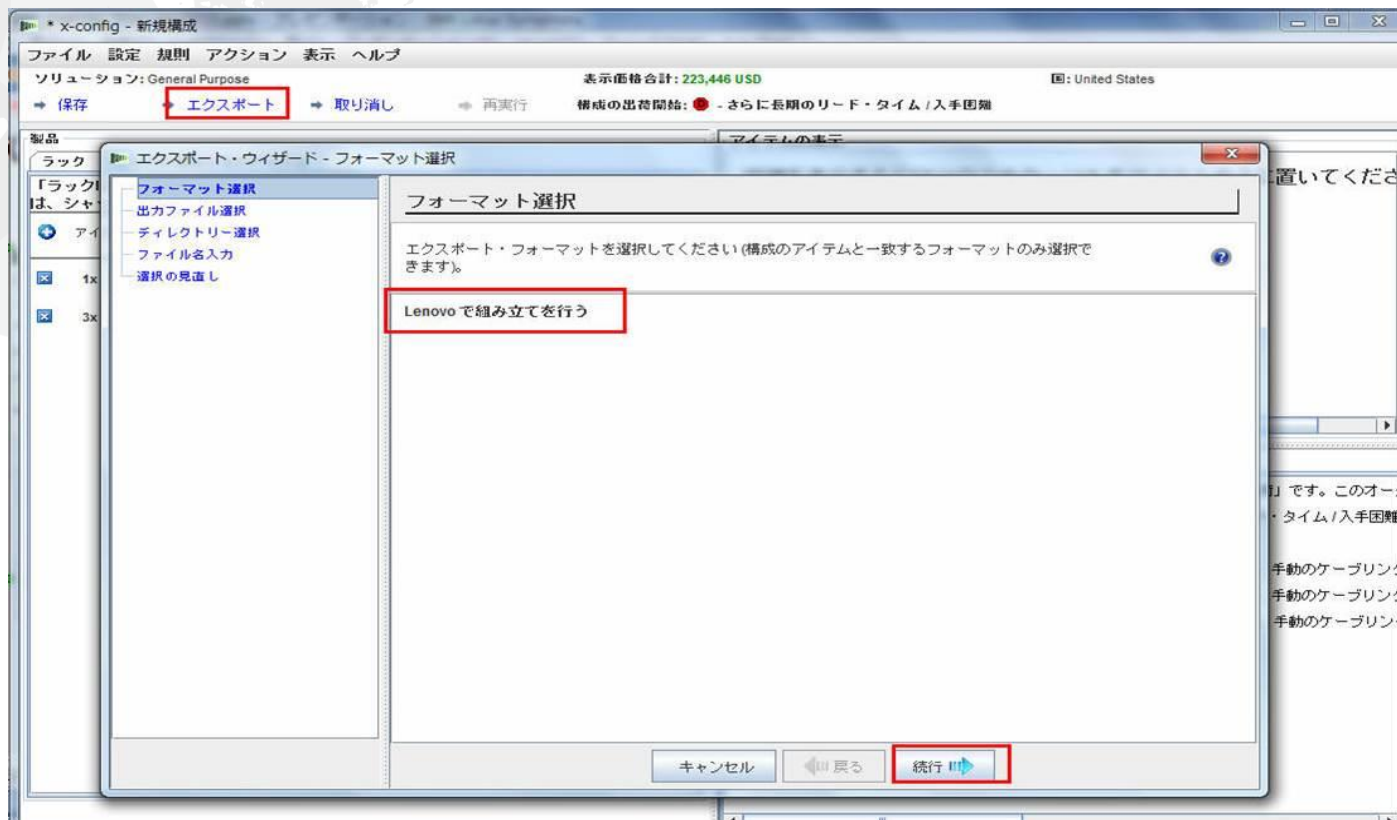
- 前の画面で「はい」をクリックすると、この製品構成の数量の「入力」を求めるポップアップ・ボックスが表示されます。ここでは、デフォルトの 1 から 3 に変更し、「OK」をクリックしました。

x-config – 「新規構成」のメイン構成画面



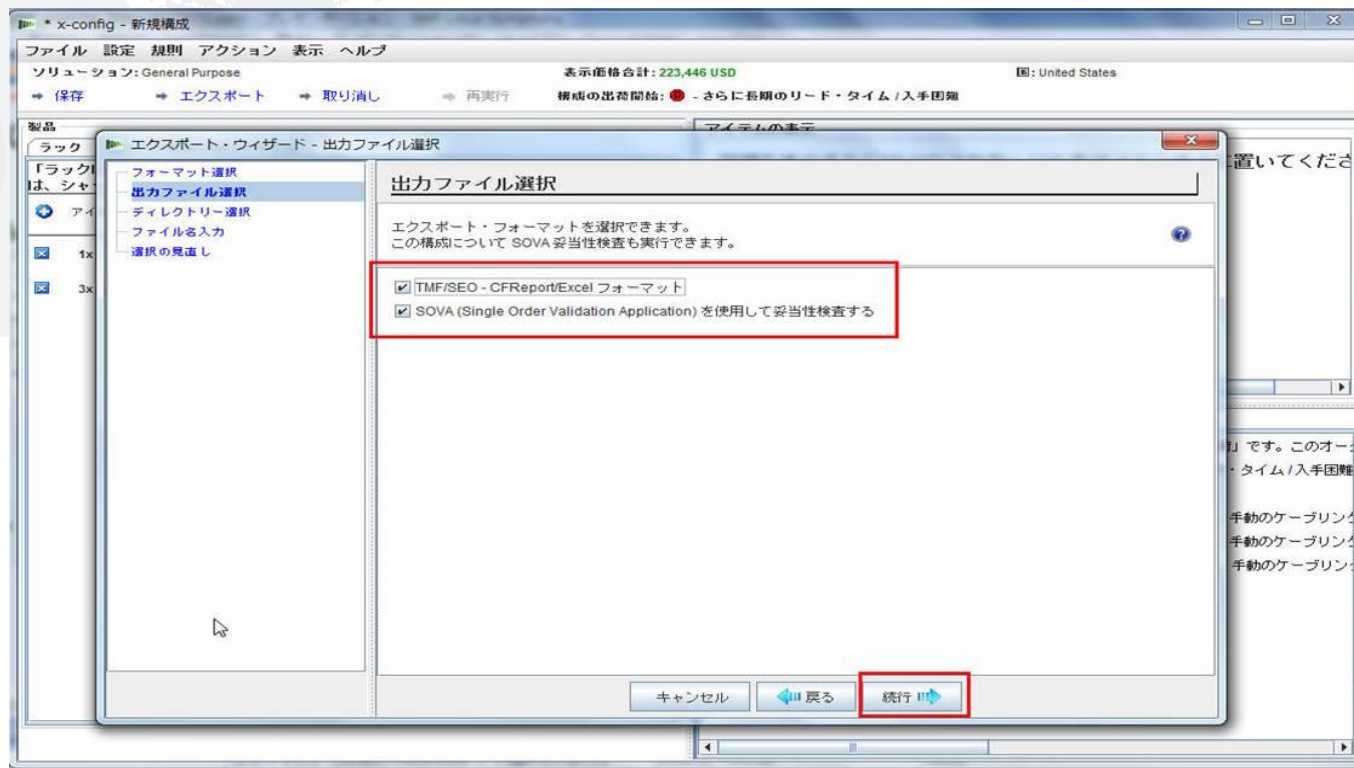
■ 構成ウィザードを終了すると、メイン構成画面に戻ります。ここでは、「表示価格合計」を確認できます。「表示価格合計」は、単一のブレード価格である「~74,279 USD」の3倍になっています。また、「ここで追加されるオプション・パーツや組立製品はラックとは別にオーダーされ、ラックに組み込まれない状態で個々に出荷されます」という説明メッセージが表示されています。ここでは、構成の「保存」や「エクスポート」、または他のアイテムの追加、ならびにその他のメニュー選択を行うことができます。

x-config – 「エクスポート構成ウィザード」の「フォーマット選択」



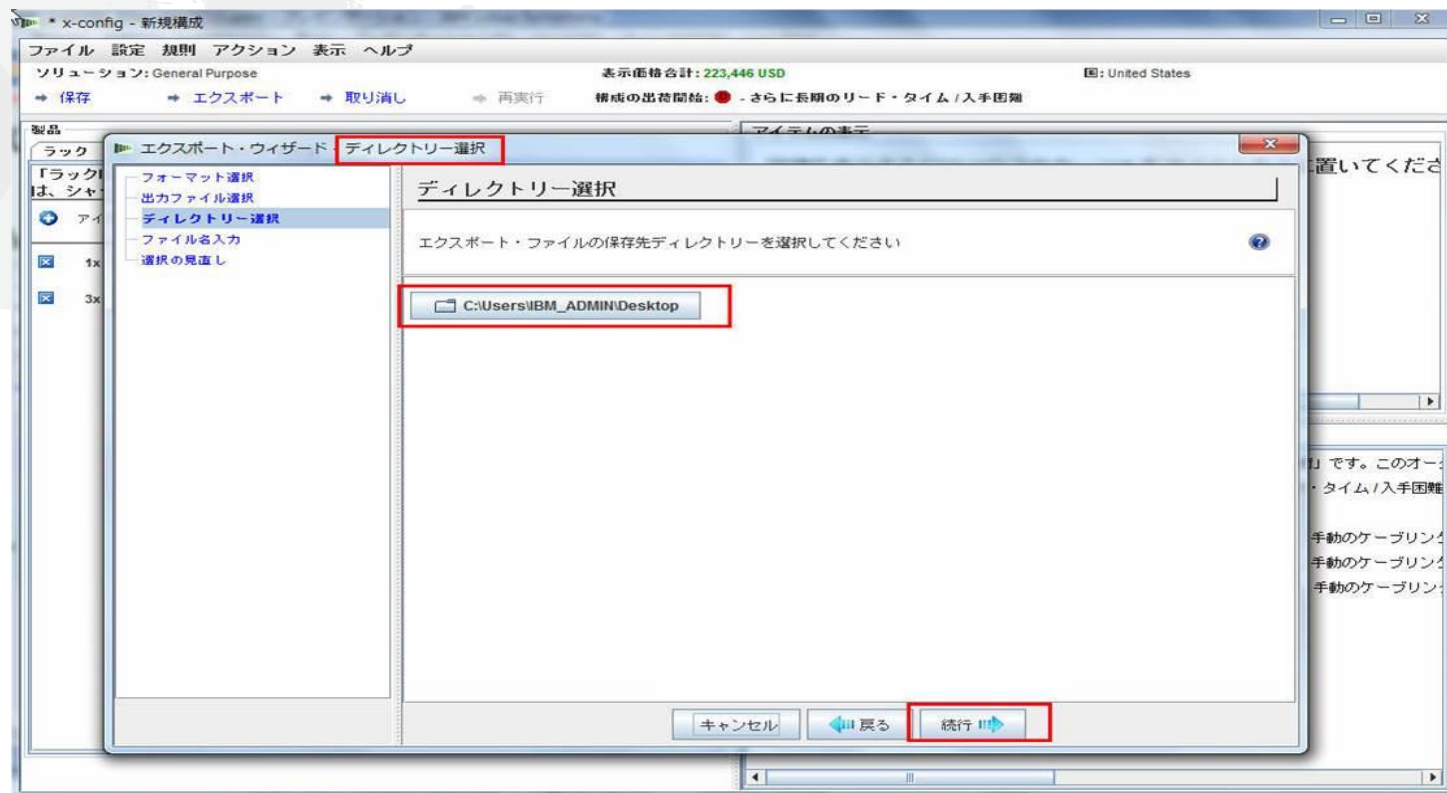
- メイン構成ウィザードで「エクスポート」を選択しました。「エクスポート構成ウィザード」の「フォーマット選択」のポップアップが表示され、この構成パスが「Lenovo で組み立てを行う」(CTO) になることを警告します。「続行」をクリックします。

x-config – 「エクスポート・ウィザード」の「出力ファイル選択」



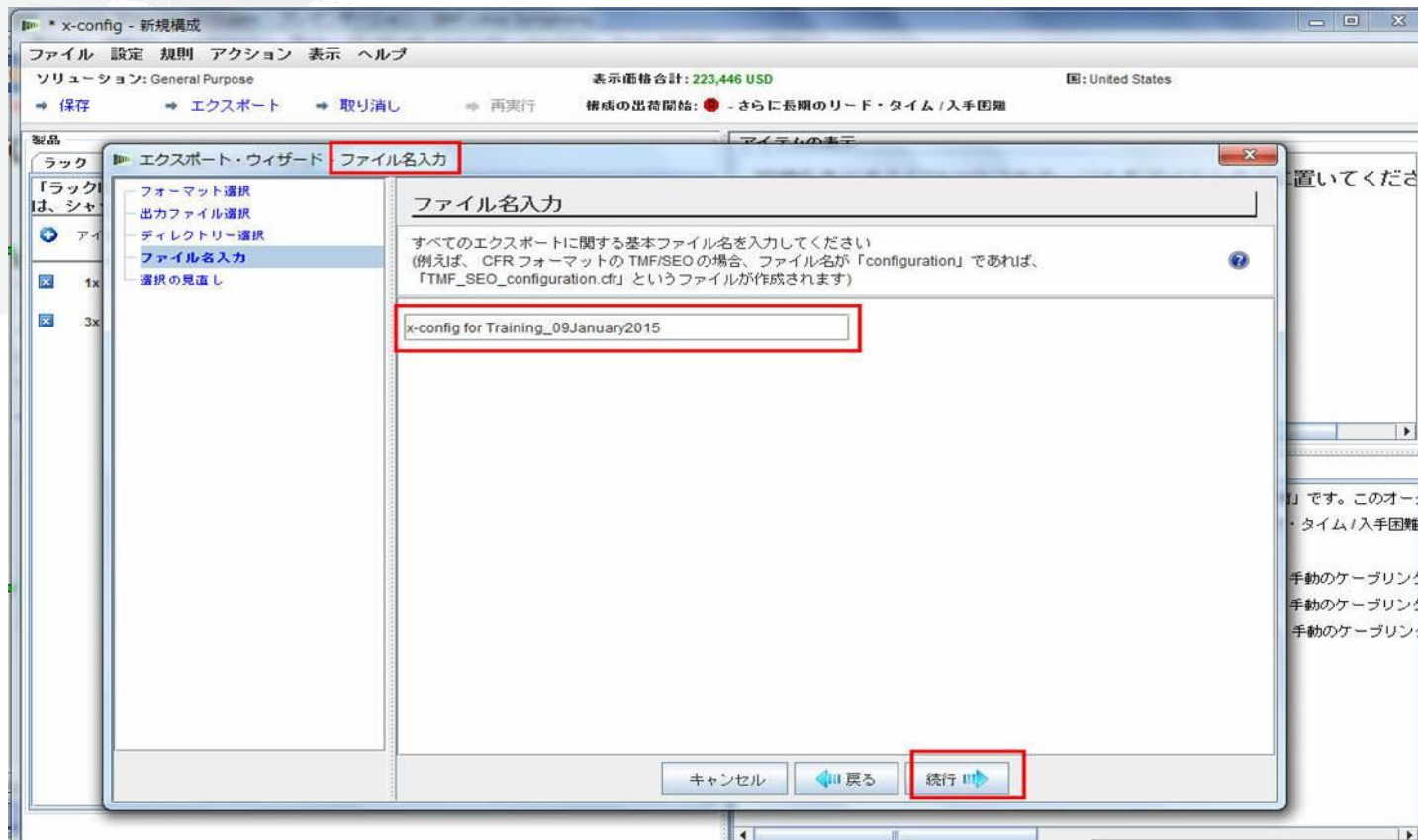
- メイン構成ウィザードで「エクスポート」を選択しました。「エクスポート・ウィザード」の「出力ファイル選択」のポップアップが表示されます。国が US の場合、デフォルトで「TMF/SEO - CFReport/Excel フォーマット」と「SOVA を使用して妥当性検査する」のチェック・ボックスが表示されます。デフォルトでは、「SOVA を使用して妥当性検査する」にチェック・マークが付けられます。SOVA (Single Order Validation Application) は、構成が製造可能であることと、構成にエラーが一切含まれていないことを検証する Web ベースのツールです。「続行」をクリックします。

x-config – 「エクスポート・ウィザード」の「ディレクトリー選択」



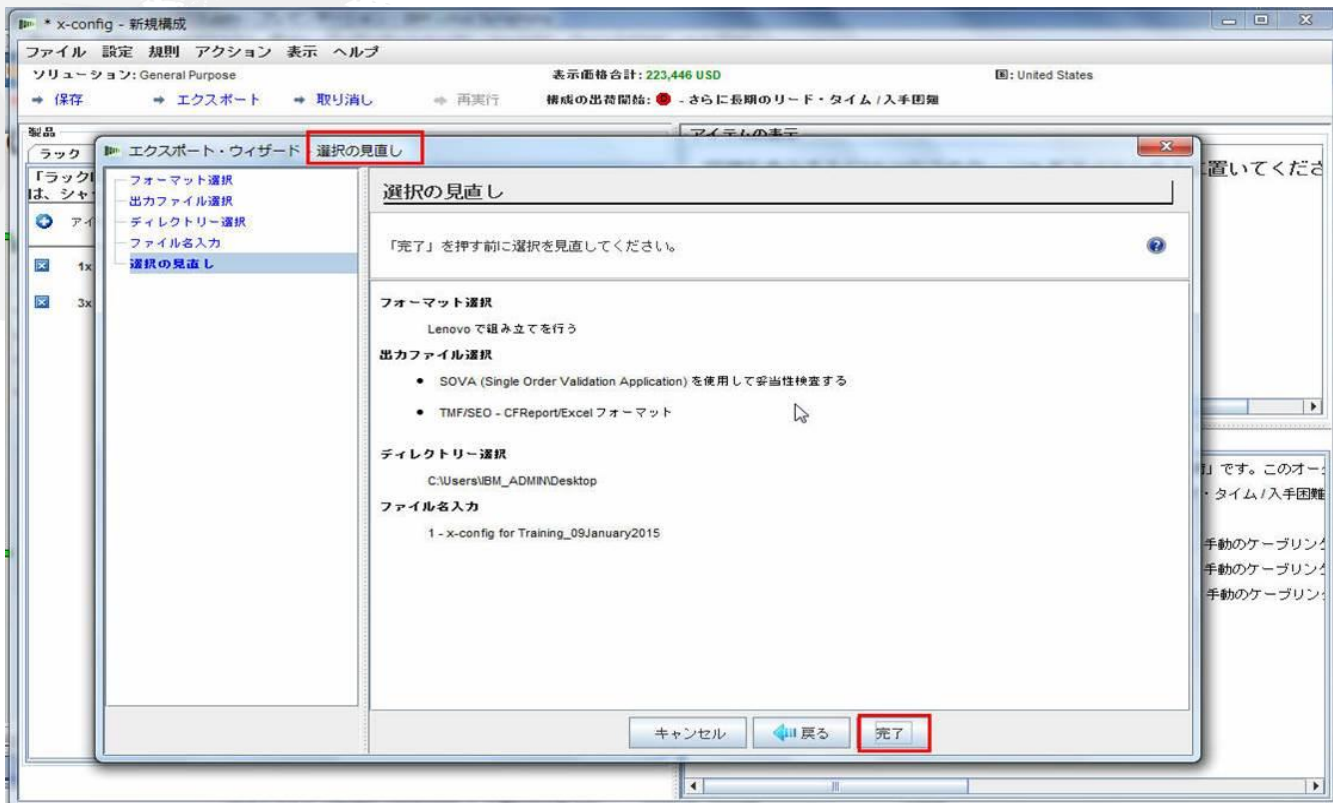
- 前の画面で「続行」をクリックしました。次に「ディレクトリー選択」を選択します。デフォルトでは「C:\Users\xxxxx」にファイルが置かれます。xxxxx はユーザー名です。設定ユーティリティーで、これを任意の他のディレクトリーに変更できます。ここでは、デスクトップにエクスポートされるように設定しました。「続行」をクリックします。

x-config – 「エクスポート・ウィザード」の「ファイル名入力」



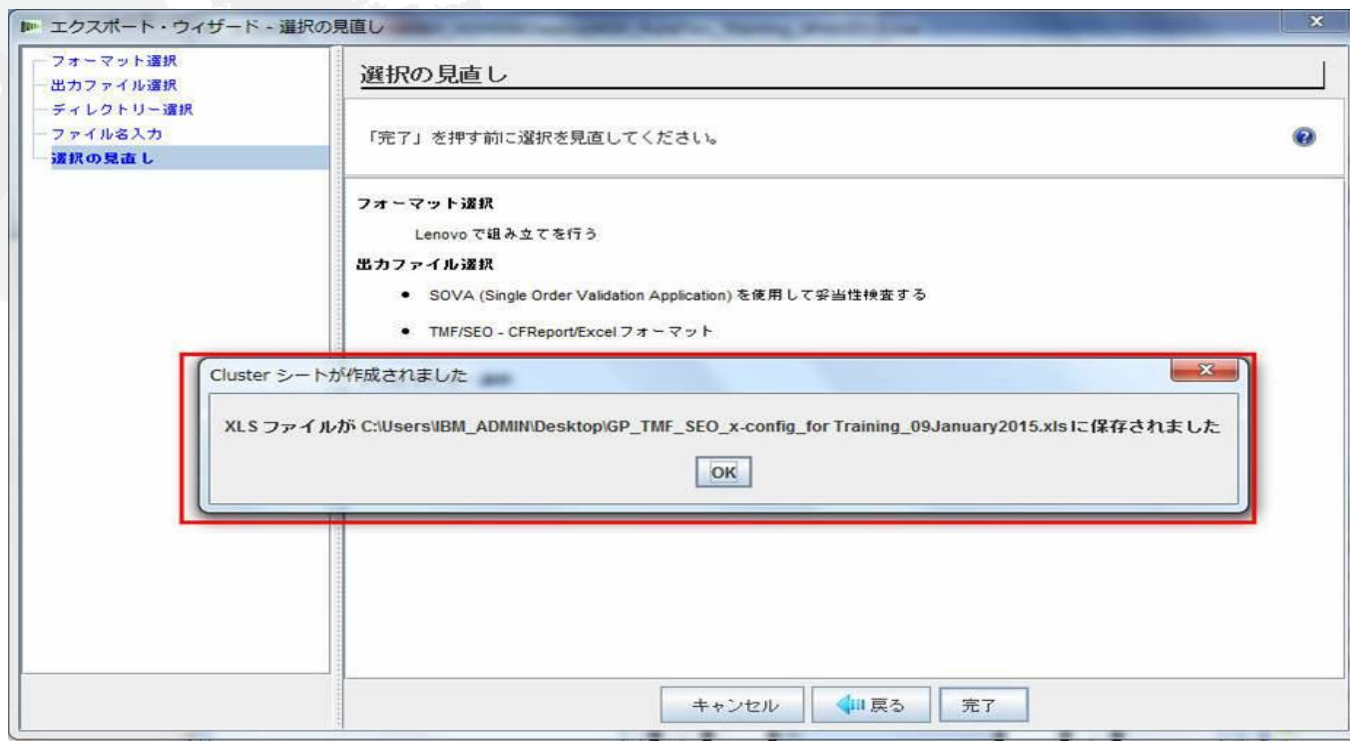
■ 前の画面で「続行」をクリックしました。次は「ファイル名入力」画面です。x-config のデフォルトでは、ファイル名として日時が入力されます。ファイル名を「x-config for Training_09January2015」に変更しました。次に「続行」をクリックしました。

x-config – 「エクスポート・ウィザード」の「選択の見直し」



- 前の画面で「続行」をクリックしました。次は「選択の見直し」画面です。「完了」をクリックします。

x-config – 「エクスポート・ウィザード」の「選択の見直し」



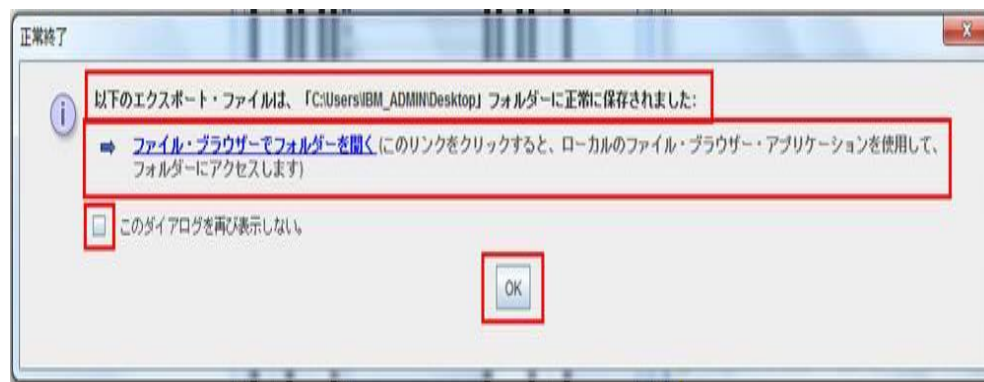
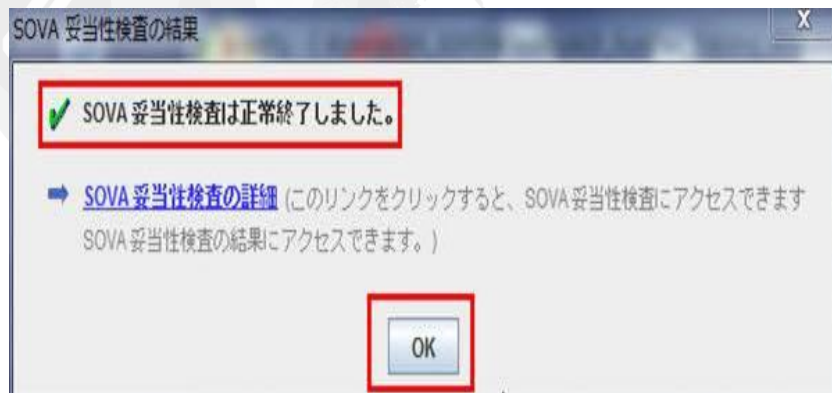
■ 前の画面で「完了」をクリックしました。次に、選択したディレクトリーに XLS ファイルが正常に作成されたことを通知するポップアップ画面が表示されます。「OK」をクリックします。

x-config – 「エクスポート・ウィザード」の「選択の見直し」



■ 前の画面で「完了」をクリックしました。次に、選択したディレクトリに CFReport ファイルが正常に作成されたことを通知するポップアップ画面が表示されます。「OK」をクリックします。

x-config – 「エクスポート構成ウィザード」の「選択の見直し」



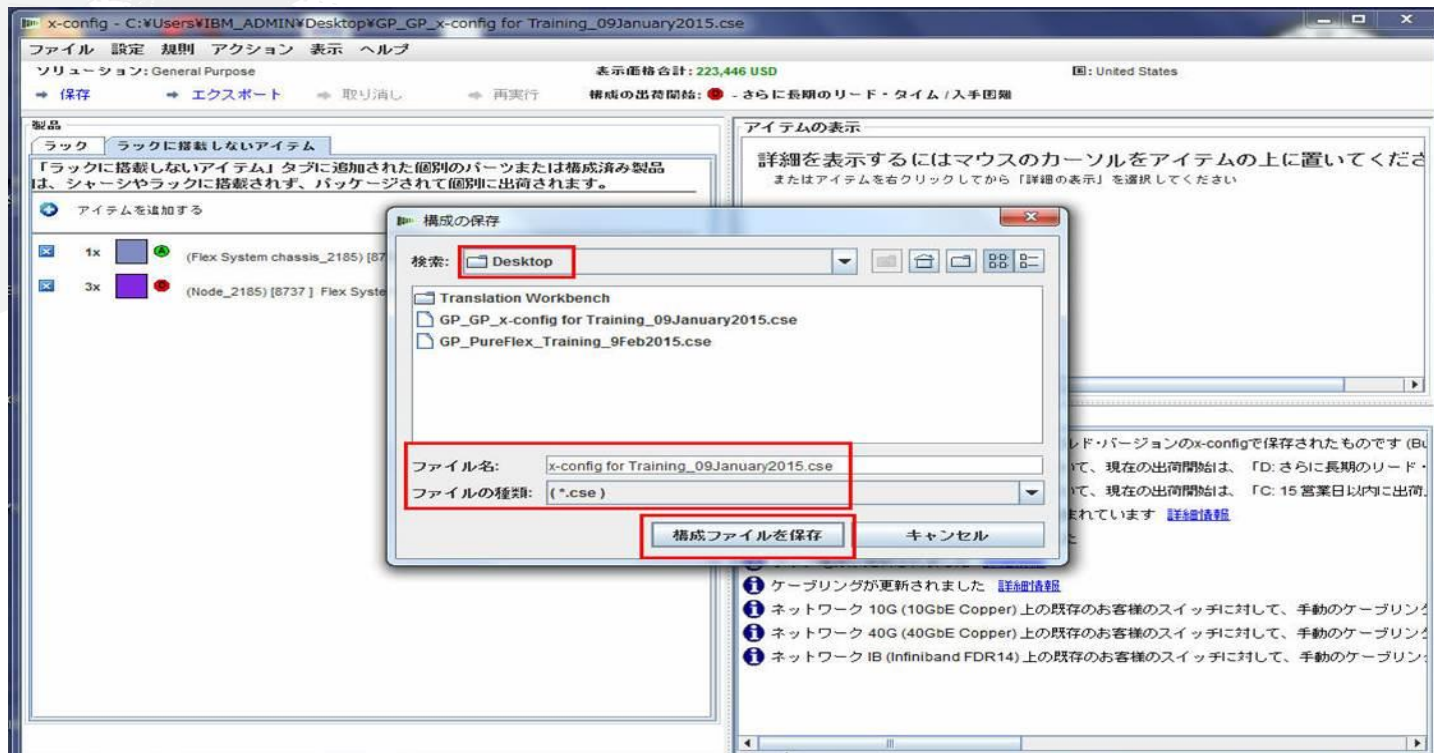
■ 前の画面で「完了」をクリックしました。次に、SOVA 妥当性検査の正常終了または失敗を通知する 2 つのポップアップ画面が表示されるはずですが、リンクをクリックすると結果を表示できますが、レポートを表示するには、インターネットへの接続が必要となります。もう一方のポップアップ画面は、エクスポートが正常終了していることを再確認するものです。「ファイル・ブラウザでフォルダーを開く」リンクをクリックすると、ファイルを表示できます。このポップアップを今後表示しないようにするには、「このダイアログを再び表示しない」ボックスにチェック・マークを付けます。両方のポップアップ画面で「OK」をクリックします。

x-config – メイン構成画面の「保存」



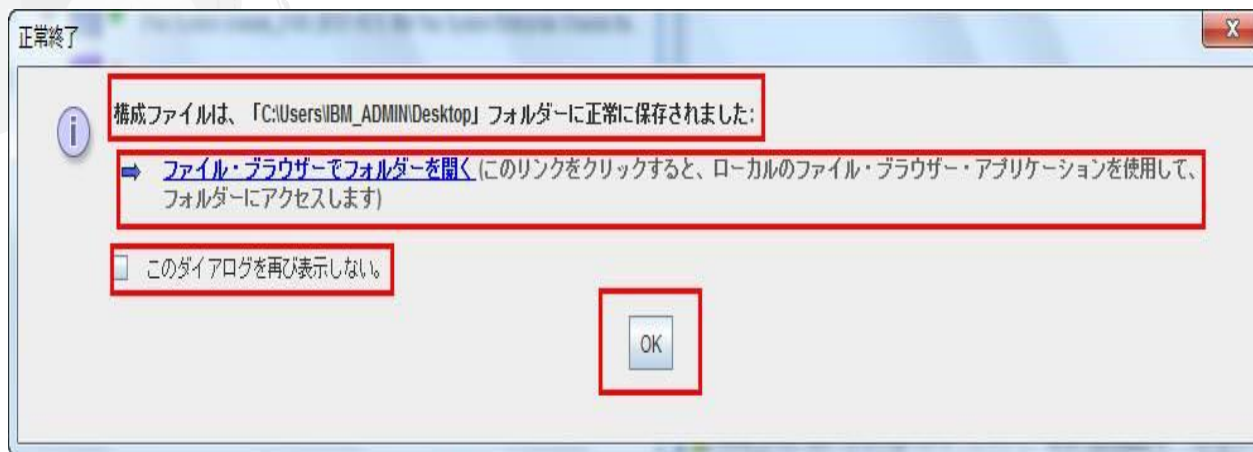
■ 前のポップアップで「OK」をクリックすると、メイン構成画面に戻ります。ここでは、必要に応じて、今後の変更に加え、構成の「保存」をクリックする必要があります。x-config のデフォルトのインポート・フォーマットは「.CSE」です。

x-config – メイン構成画面の「構成の保存」



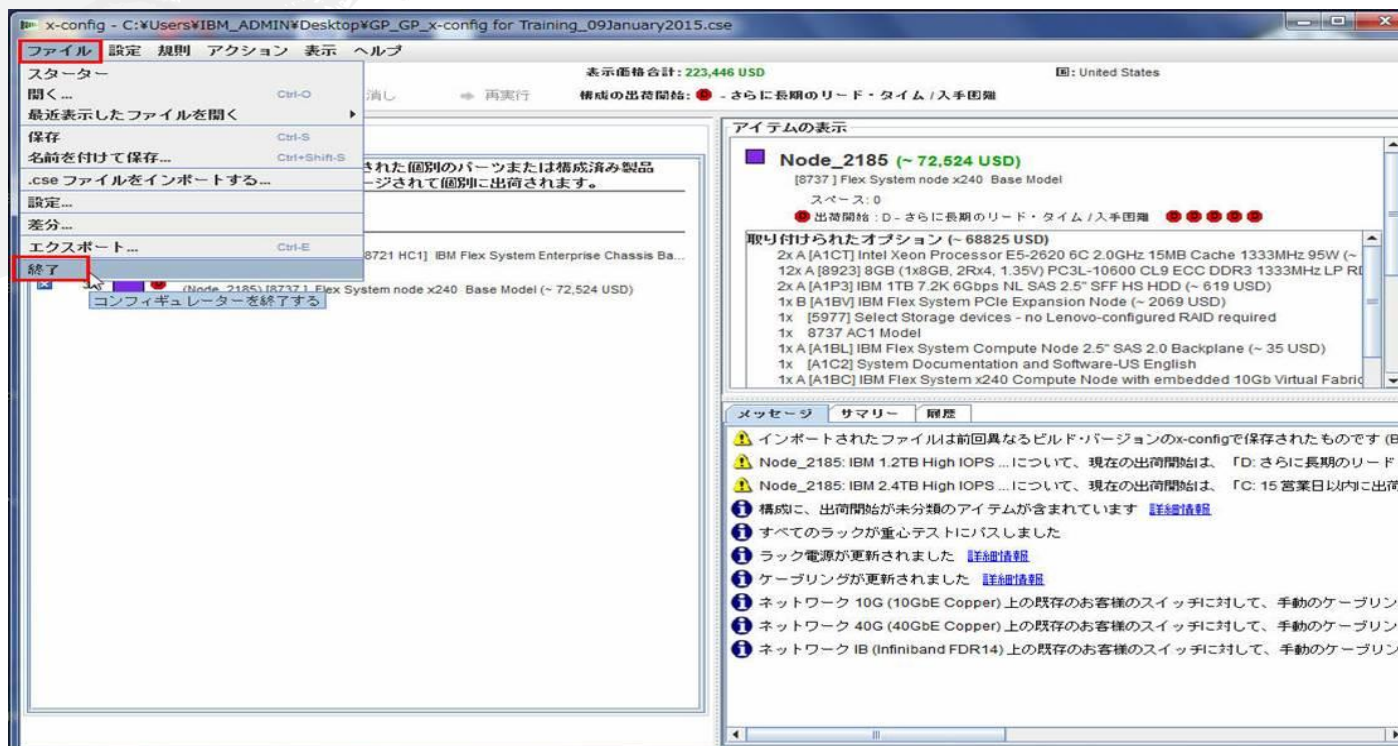
- 前の画面で「保存」をクリックすると、「構成の保存」のポップアップ・ボックスが表示されます。ここで、デフォルトのディレクトリーを選択したり、.CSE ファイルを別のディレクトリーに置いたりすることができます。.CSE ファイルの「ファイル名」を作成する必要があります。その後「構成ファイルを保存」をクリックします。

x-config – メイン構成画面の「正常終了」



- 「構成ファイルを保存」をクリックすると、「正常終了」およびファイルが保存されたディレクトリーを通知する別のポップアップ・ボックスが表示されます。「エクスポート」と同様、「ファイル・ブラウザでフォルダーを開く」ことができます。ボックスにチェック・マークを付けて、このダイアログを今後表示しないように選択することもできます。「OK」をクリックします。

x-config – メイン構成画面の「終了」



- 「OK」をクリックすると、メイン構成画面に戻ります。完了したら、「ファイル」ドロップダウン・メニューから「終了」をクリックできます。

x-config – フィーチャー・コード (FC) の XLS 出力

PN	説明	単価	数量	合計価格	フラグ
注意: 1) すべてのハードウェアおよびソフトウェアの表示価格は、参照用としてのみ使用してください。また、予告なしに変更される場合があります。					
2) 表示されたメンテナンス価格は基準価格のみで、標準的なサービス・レベルの価格になります。					
国 = United States				USD	
構成全体				227,113.00	
Node_2185		9,854.00	1	9,854.00	
8737AC1	Flex System node x240 Base Model	0.00	1	0.00	
A2TD	IBM Virtual Fabric Advanced Software Upgrade (LOM)	99.00	1	99	
5977	Select Storage devices - no Lenovo-configured RAID required	0.00	1	0	
A1P3	IBM 1TB 7.2K 6Gbps NL SAS 2.5" SFF HS HDD	619.00	2	1238	
A3QH	8GB (1x8GB, 1Rx4, 1.35V) PC3L-12800 CL11 ECC DDR3 1600MHz LP RDIMM	199.00	12	2388	
A1BL	IBM Flex System Compute Node 2.5" SAS 2.0 Backplane	35.00	1	35	
A1C2	System Documentation and Software-US English	0.00	1	0	
A4P5	IBM Flex System x240 Compute Node v2 - embedded 10Gb Virtual Fabric	2,125.00	1	2125	
AS0B	2GB USB Hypervisor Key (latest VMware level for PureFlex)	75.00	1	75	
A4P8	Intel Xeon Processor E5-2697 v2 12C 2.7GHz 30MB Cache 1866MHZ 130W	3,825.00	1	3825	
A5R8	PureFlex Foundation Minimum Configuration	0.00	1	0	

- これは、フィーチャー・コード (FC) の XLS 出力ファイルの「リファレンス」タブの表示です。フィーチャー・コード (FC) は、Lenovo が製品やソリューションのフルフィルメントを行う目的で、アメリカの System x で使用されます。また、Lenovo のフルフィルメントのために、「エクスポート」の CFR も必要となります。この XLS 出力は、お客様への提案の用途で使用できます。

x-config – フィーチャー・コード (FC) の XLS 出力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	MT_ModelX	フィーチャー・コード	説明	数量					
2	CFR_Rack_PureFlexSystem_85_1		x-config_ID: 284255R01						
3	8/21HC1	A2Z1	IBM Fabric Manager Manufacturing Instruction	1					
4		AUIP	IBM Flex System Compute Node Filler	8					
5		SUS3	Lenovo SFP+ SK Transceiver	4					
6		6252	2.5m, 16A/100-240V, C19 to IEC 320-C20 Rack Power	4					
7		AUTU	IBM Flex System Enterprise Chassis Fan Module Filler	2					
8		ASKA	Transparent Mode Switch Indicator	1					
9		AUUD	IBM Flex System Enterprise Chassis 2500W Power Modu	2					
10		AUTQ	IBM Flex System Switch Filler	2					
11		AUIL	IBM Flex System Enterprise Chassis Power Module Filler	2					
12		ASUL	IBM SFP 1000Base-T (RJ-45) Transceiver	4					
13		38U3	3m Blue Cat6e Cable	6					
14		A1UP	1m IBM QSFP+ to QSFP+ cable	1					
15		AUUC	IBM Flex System Enterprise Chassis 2500W Power Modu	2					
16		ASKB	PureFlex Foundation Minimum Configuration	1					
17		28U2	1.5m Blue Cat6e Cable	1					
18		53U7S	IBM 8Gb SFP+ SW Optical Transceiver	4					
19		AUIA	IBM Flex System Enterprise Chassis	1					
20		AUIW	System Documentation and Software - US English	1					
21		AUUA	IBM Flex System Enterprise Chassis 8Umm Fan Module	2					
22		A1NF	IBM Flex System Console Breakout Cable	1					
23		A3HH	IBM Flex System Fabric CN4093 10Gb Converged Scalap	2					
24		A2KK	IBM Flex System Management Serial Access Cable	1					
25		AUUE	IBM Flex System Chassis Management Module	1					
26		23U0	BladeCenter Chassis Configuration	1					
27		89/1	Integrate in manufacturing	1					
28		AUIM	IBM Flex System Chassis Management Module	1					
29		AUIK	IBM Flex System Enterprise Chassis Label Group	1					
30		A1UX	IBM Flex System Enterprise Chassis Rack Kit	1					
31		23U6	Rack Installation >1U Component	1					
32		33U1	BladeCenter U1	1					
33		8U/7	Integrate BladeCenter in Manufacturing	1					
34		8U/2	General Racking Solution	1					
35		31U1	Install in Rack U1	1					
36		3202	Rack location U02 に取り付ける	1					
37	8/31AC1								
38		A1AV	IBM 1TB 7.2K bGbps NL SATA 2.5" SFF HS HDD	1					
39		A1AW	System Documentation and Software-US English	1					
40		59/8	Select Storage devices - Lenovo-configured RAID	1					
41		ASKB	PureFlex Foundation Minimum Configuration	1					
42		8941	4GB (1x4GB, 1Kx4, 1.35V) PC3L-10600 CL9 ECC DDR3	8					
43		A2H4	IBM Flex System Manager Software Stack	1					

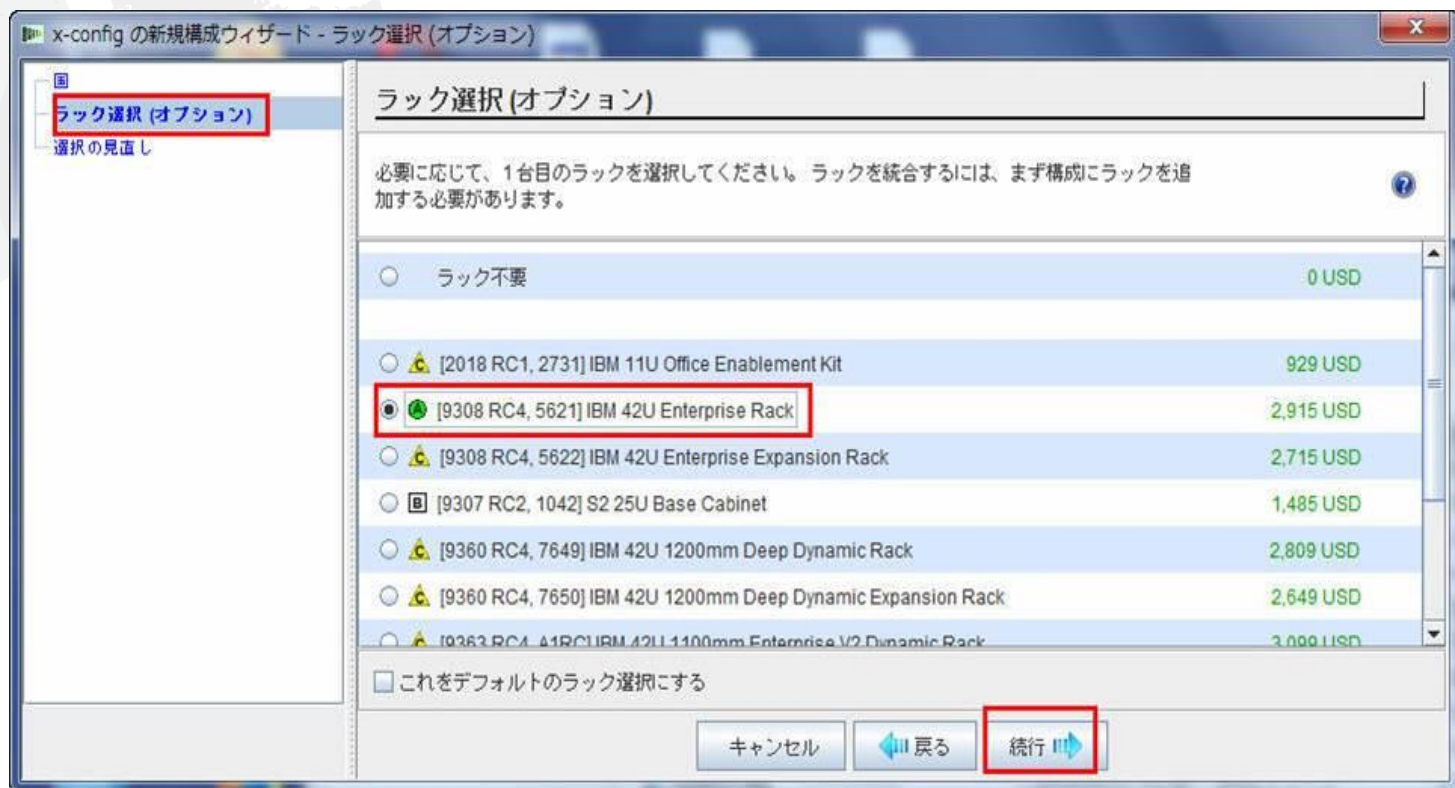
- これは、フィーチャー・コード (FC) の XLS 出力ファイルの「CFR レビュー」タブの表示です。これは、ソリューションを検証するのに使用できます。

x-config – 「新規構成」



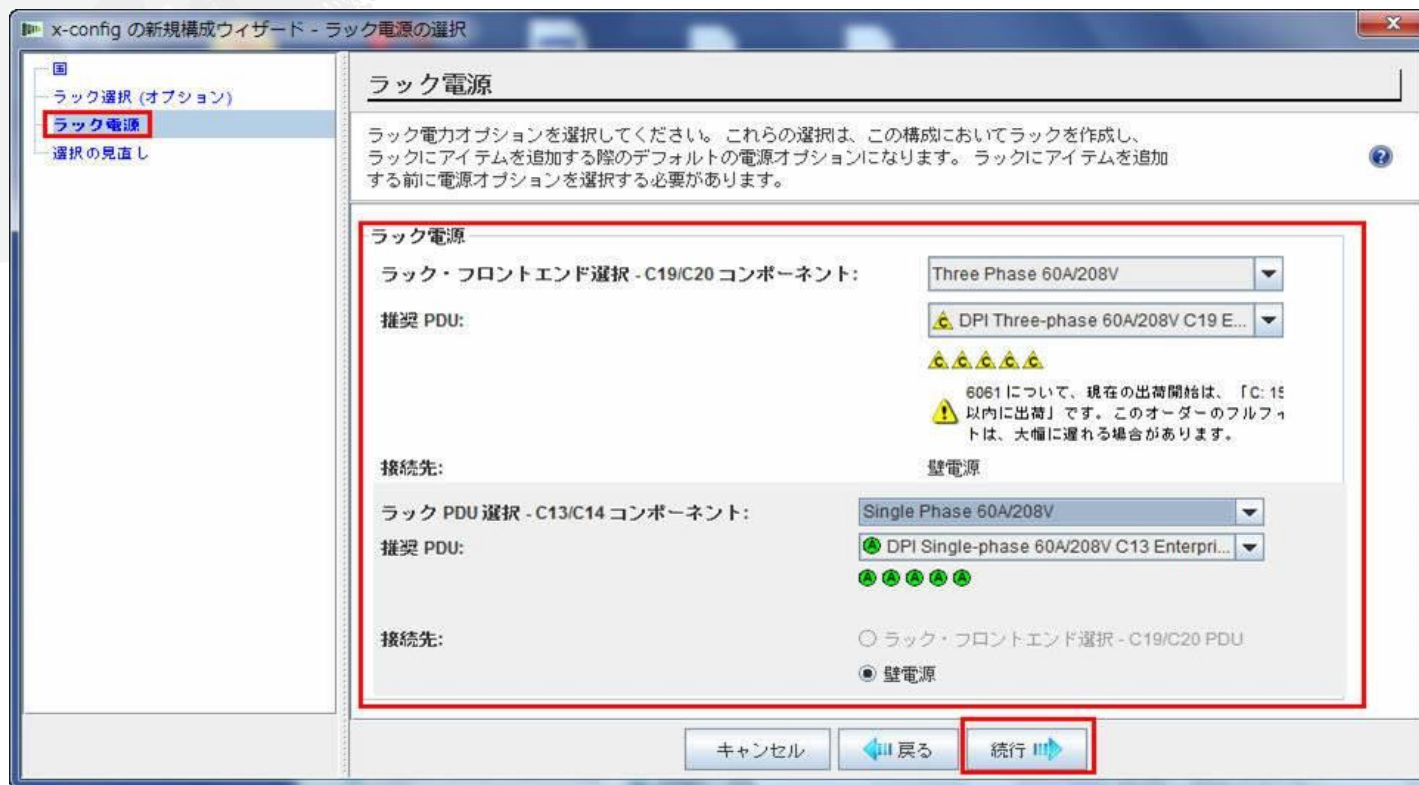
ここで、異なる構成パスを選択できるように x-config を再起動します。ここでは、スターター画面で「新規構成」を選択しました。前の選択に応じて「選択の見直し」ページに直ちにスキップします。「戻る」をクリックすると、割り当てられた値を変更できます。「完了」をクリックすると、構成を完了します。

x-config – 「新規構成ウィザード」の「ラック選択」



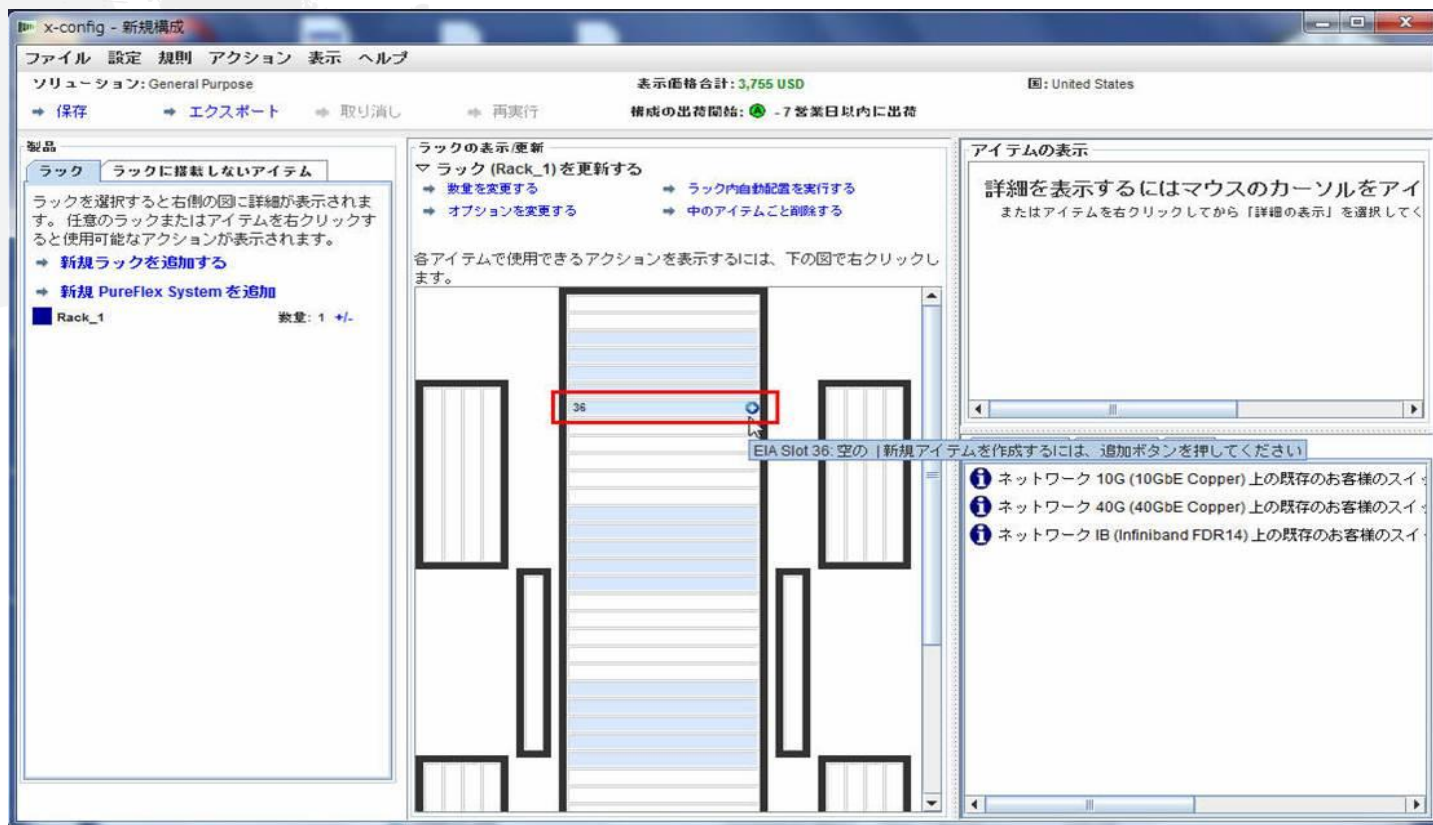
- 「新規構成ウィザード」で、「ラック選択」画面に戻り、「9308 RC4, 5621 IBM 42U Enterprise Rack」を選択しました。「続行」をクリックします。

x-config – 「新規構成ウィザード」の「ラック電源の選択」



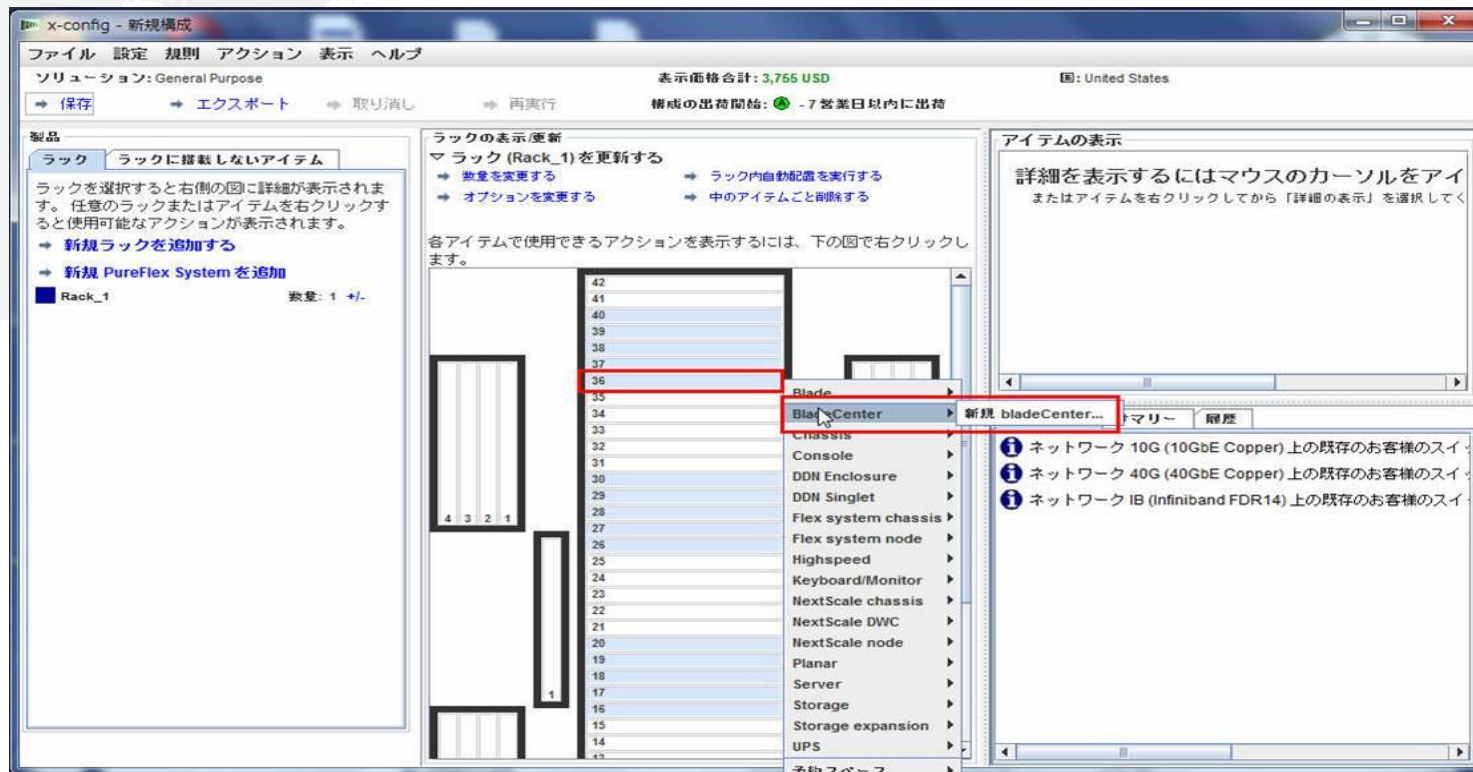
- 次に、ラック電源を選択する必要があります。「続行」をクリックします。

x-config – 「新規構成」のメイン構成画面



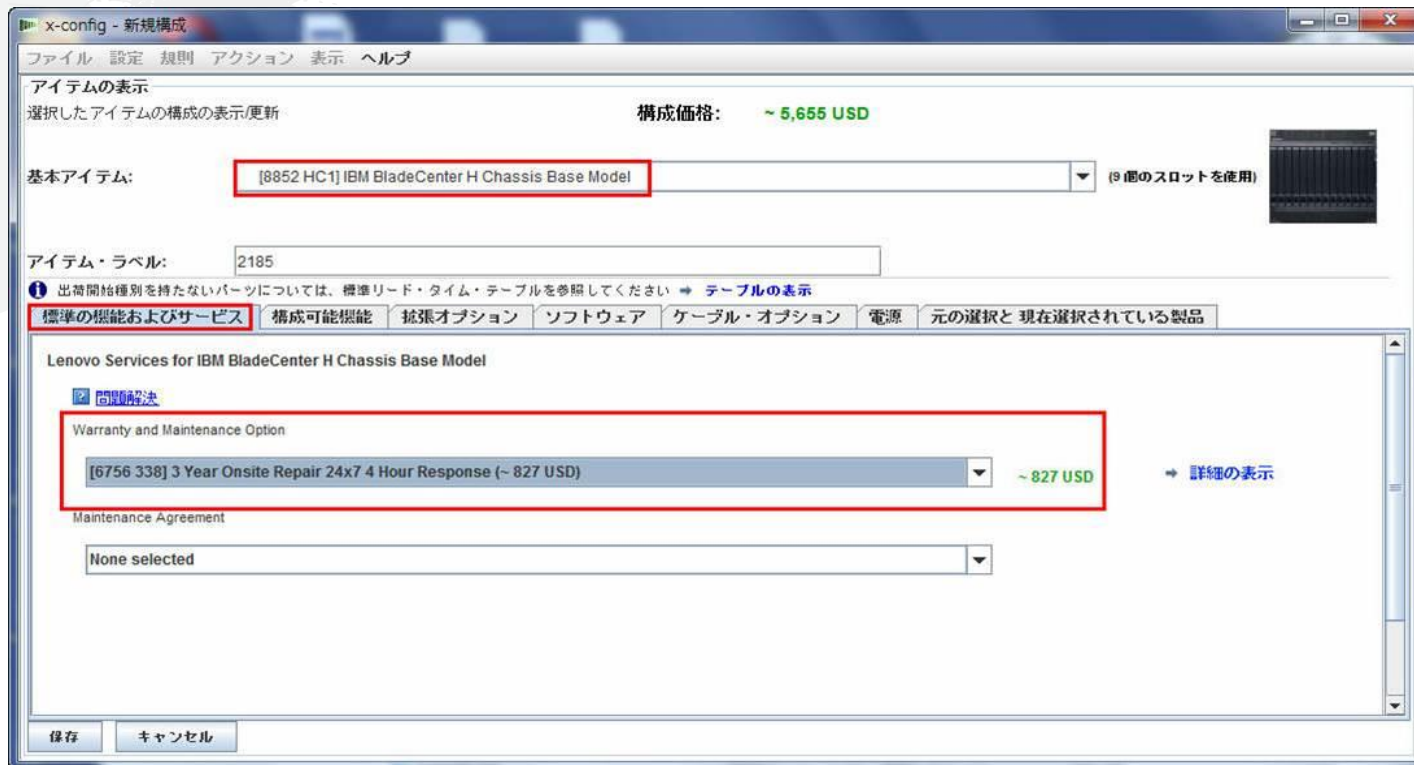
■ 「新規構成ウィザード」で「完了」をクリックすると、メイン構成画面に戻ります。ここでは、ラックの任意の空スロット (番号) 上にカーソルを置くことで、ラックに製品を追加できます。この例では、「36」の位置を選択しました。

x-config – 「新規構成」の「製品選択」



■ ここでは、スロット「36」(任意の空きスロット位置で行えます) の正符号を左クリックして製品を追加します。このモジュールでは、このままカーソルを下方の「BladeCenter」に移動させて、BladeCenter シャーシを選択してから、「新規 BladeCenter」をクリックします。

x-config – 「新規構成」の「製品構成」



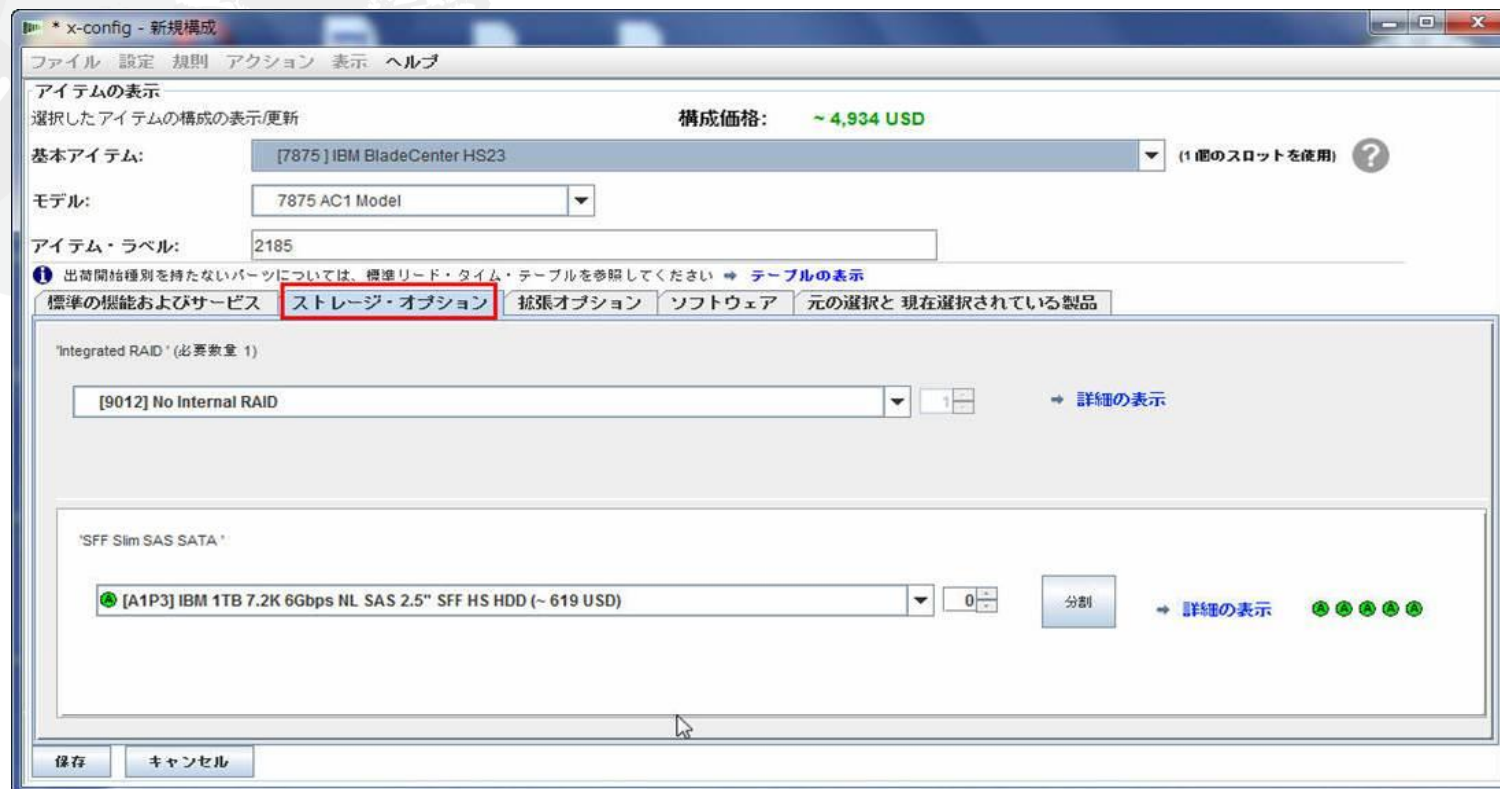
■ このトレーニング・モジュールでは、「基本アイテム」で BCH を選択しました。ここで、タブ間を移動し、必要に応じて、オプションを構成できます。ここでは、「標準の機能およびサービス」タブで、保証サポートのアップグレードを選択しました。

x-config – 「製品構成」の「標準の機能およびサービス」



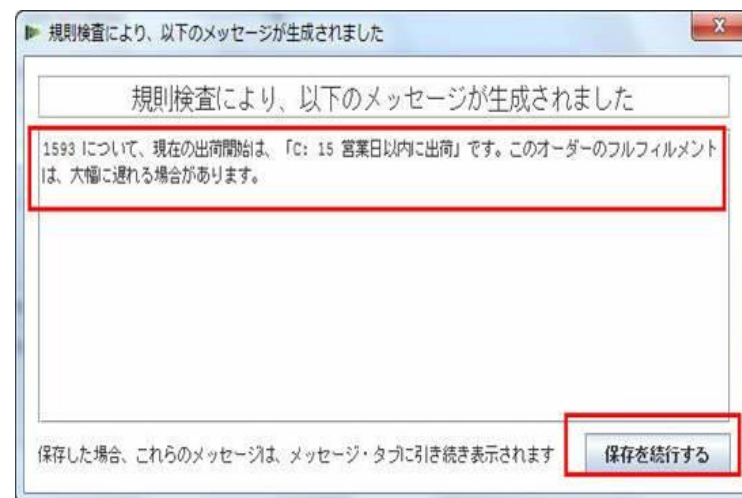
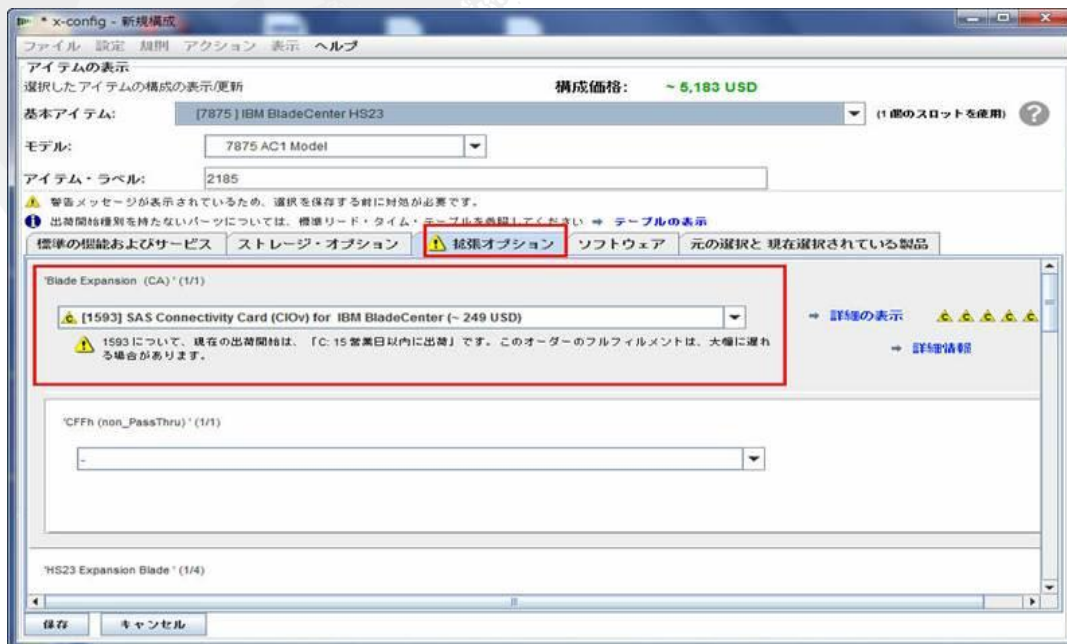
■ 前の画面では、「構成可能機能」タブを使用し、「新規ブレード」を選択して、ブレード・シャーシへのブレードの「自動取り付け」を選択しました。その後、「基本アイテム」ドロップダウン・メニューで、「7875 HS23 Base Model」を選択しました。次に、「標準の機能およびサービス」タブで、シャーシ保証と一致するブレードの保証アップグレードを選択しました。次に、プロセッサで「Intel Xeon Processor E5-2670...」に変更しました。必要に応じて、メモリの追加/変更も忘れずに行います。

x-config – 「製品構成」の「ストレージ・オプション」



- 「ストレージ・オプション」タブでは、デフォルトのままにします。

x-config – 「製品構成」の「拡張オプション」



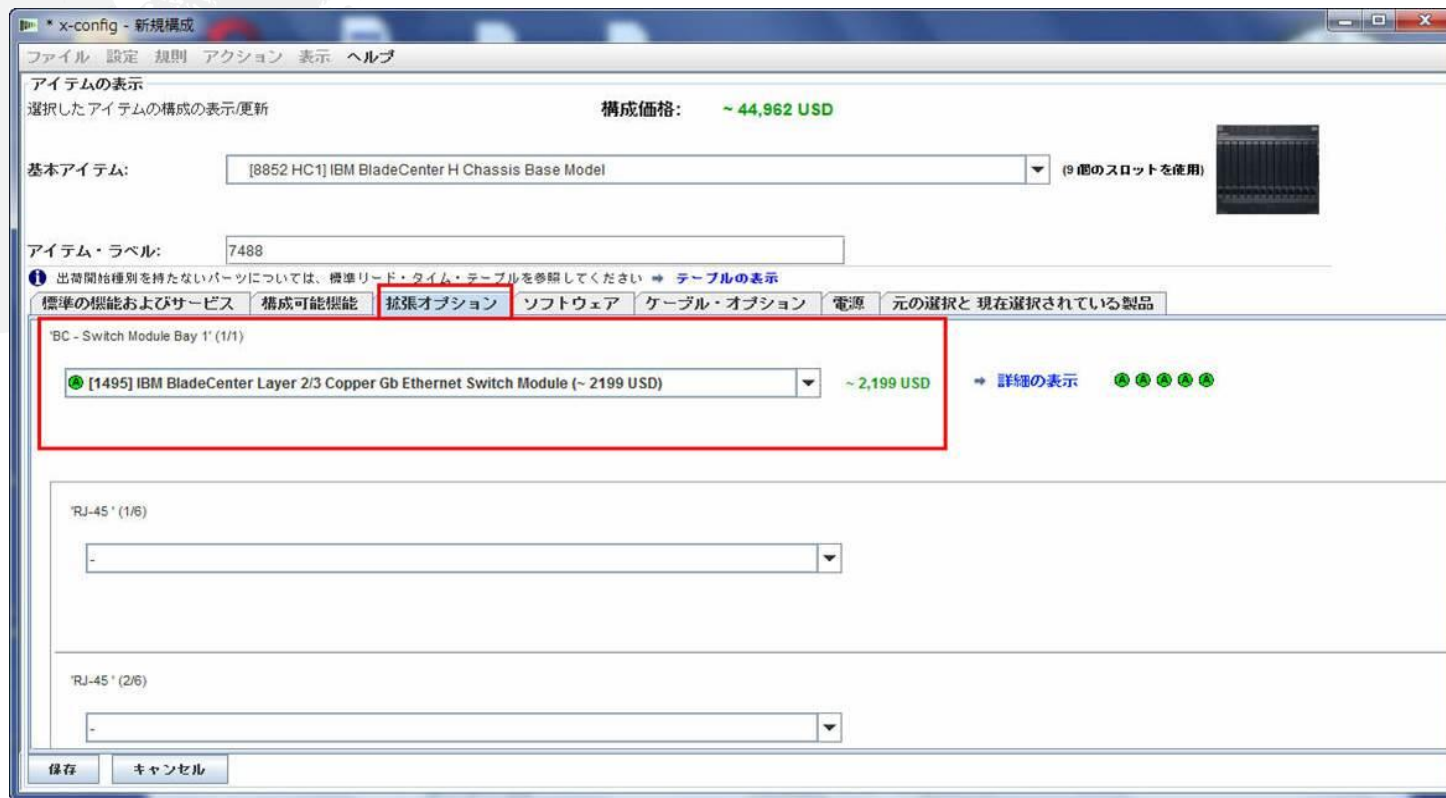
この「拡張オプション」画面では、「1593 SAS Connectivity Card (CIOv) for IBM BladeCenter」を追加しました。次に「保存」をクリックしました。その後、FC 1593 の出荷開始に関する警告を通知するポップアップ・ウィンドウが表示されました。FC 1593 は「C」パーツとしてラベル付けされているため、15 日営業日以内に出荷されます。

x-config – 「製品構成」の「構成可能機能」



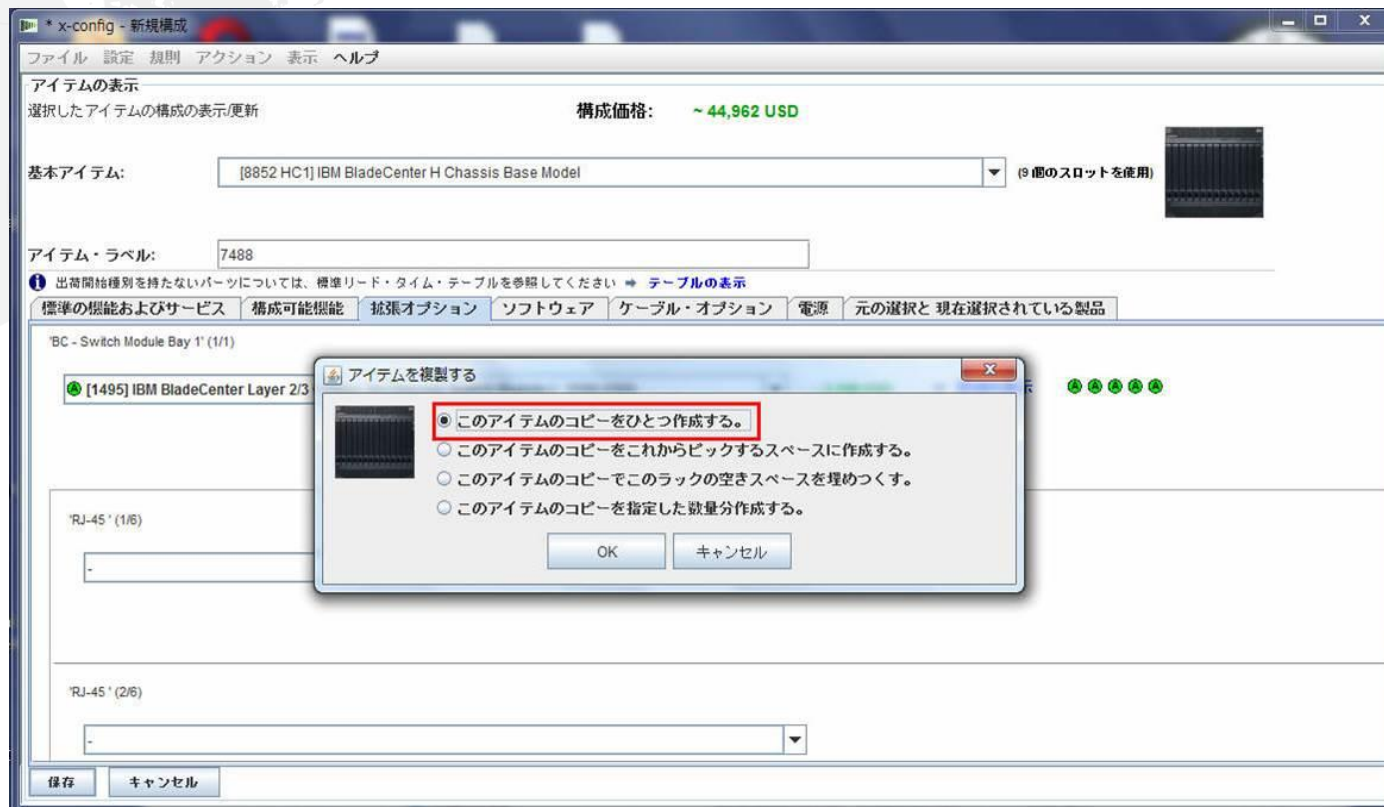
- 前の HS23 ブレード構成ウィザードで「保存」をクリックすると、取り付けるブレードの数量を選択できるようになります。7 を選択してから、「フィル」をクリックしました。これにより、ブレード・ベイの 1 から 7 の位置にブレードが自動で取り付けられます。

x-config – 「製品構成」の「拡張オプション」



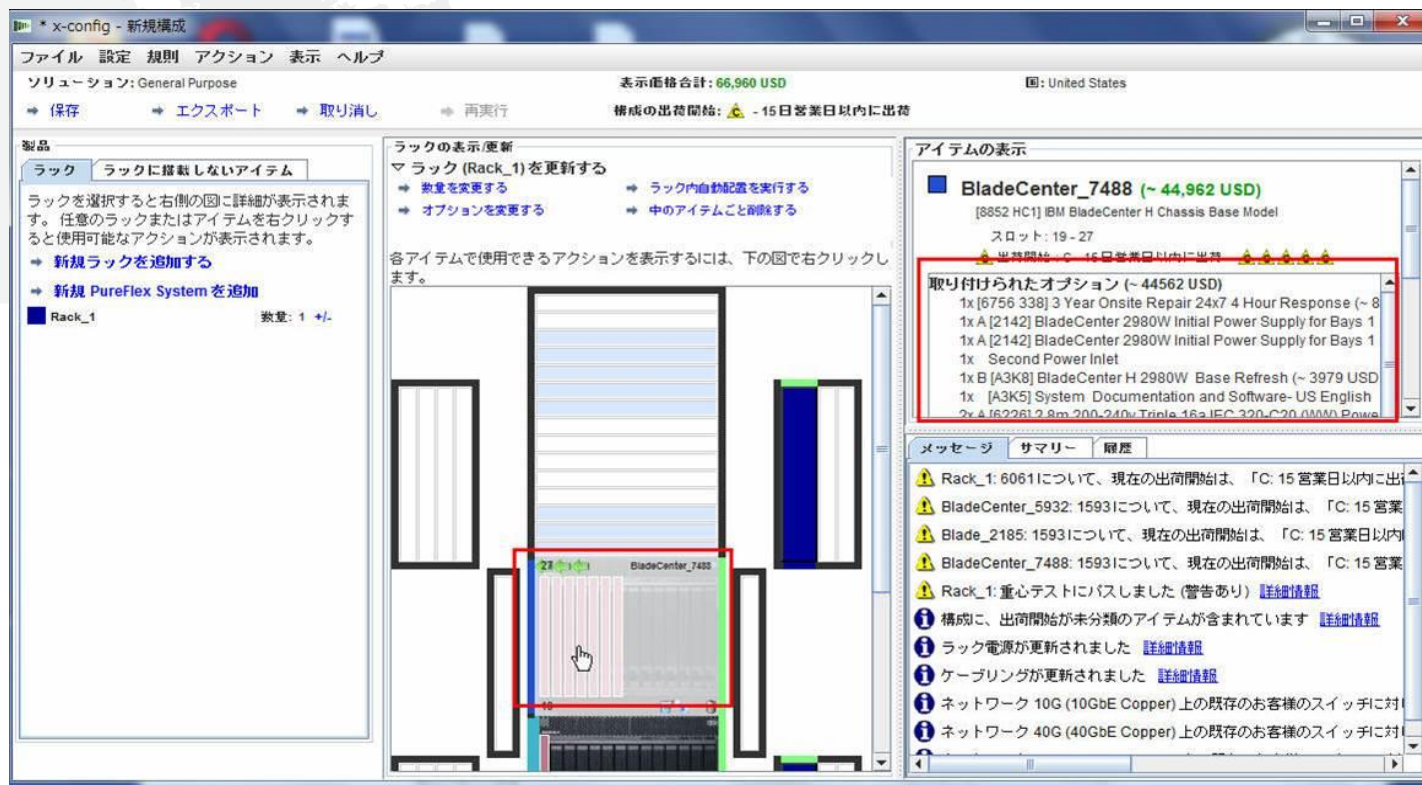
次に「拡張オプション」タブに移動し、「1495 IBM BladeCenter Layer 2/3 Copper Gb Ethernet Switch Module」を追加しました。「拡張オプション」選択の一部については、ここでは行いません。ここでは「保存」を選択します。構成の残りは、既に取り上げた Flex 製品と同様になります。

x-config – 「製品構成」の「保存」



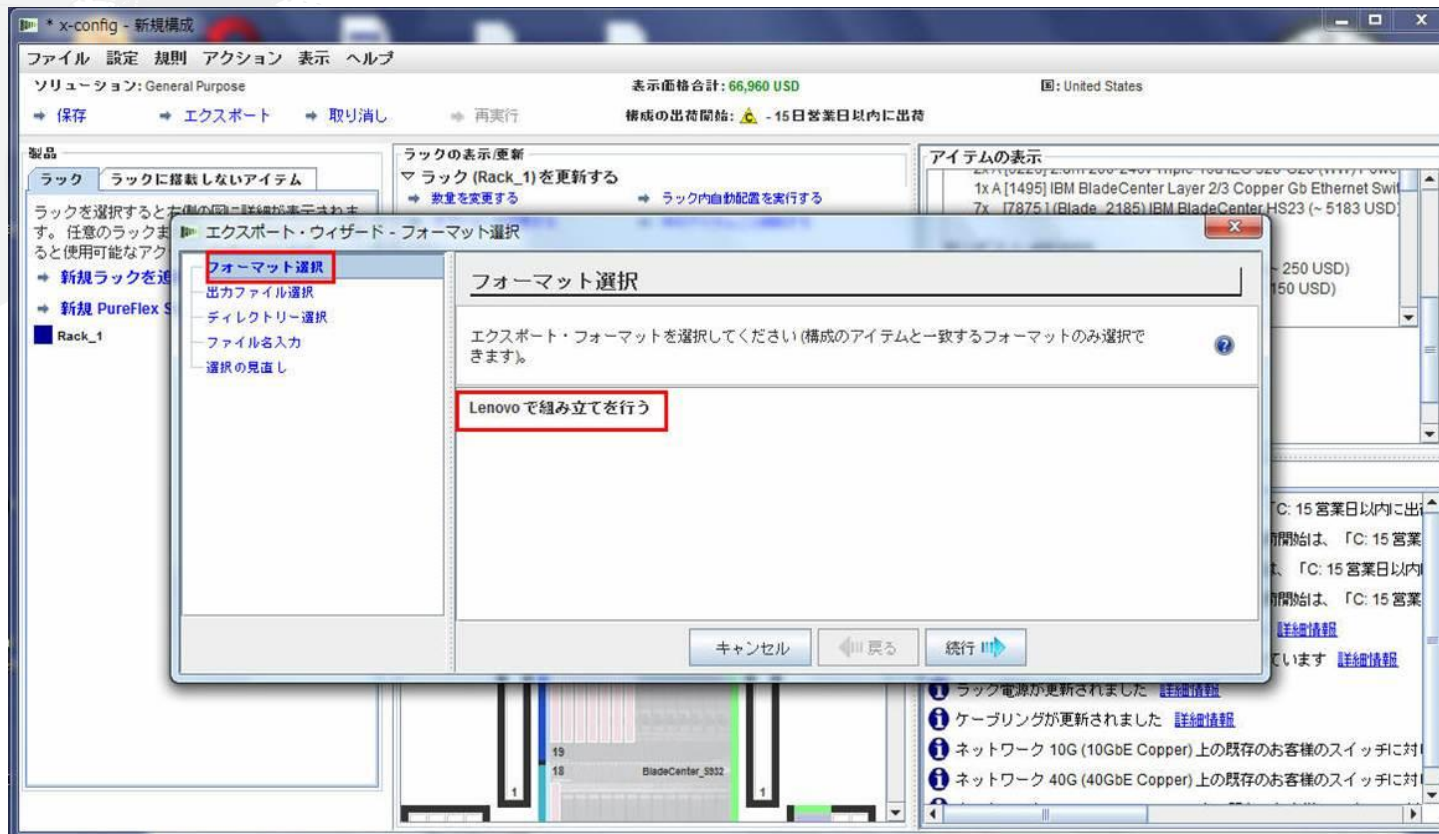
- ここで「保存」をクリックし、「アイテムを複製する」のポップアップが表示されました。ここで「このアイテムのコピーをひとつ作成する」を選択しました。その後「OK」をクリックしました。

x-config – メイン構成画面



x-config がラック下部の BladeCenter (BC) シャーシの搭載を自動的に実施したことに注目してください。BC シャーシ上にカーソルを移動させると、「取り付けられたオプション」と「サービス」を通知する情報が画面の右上に表示されます。スクロールダウンすると、さらに見ることができます。ここでは、BC シャーシとブレードの追加で使用したのと同じプロセスに従って他の製品を追加することもできます。または、前の構成と同じプロセスに従って、ここで「エクスポート」と「保存」を行うことも可能です。

x-config – 「エクスポート構成ウィザード」の「フォーマット選択」



- メイン構成ウィザードで「エクスポート」を選択しました。「エクスポート構成ウィザード」の「フォーマット選択」のポップアップが表示され、この構成パスが「Lenovo で組み立てを行う」になることを警告します。ここで「続行」をクリックします。

x-config – フィーチャー・コード (FC) の XLS 出力

1						
2	注意: 1) すべてのハードウェアおよびソフトウェアの表示価格は、参照用としてのみ使用してください。また、予告なしに変更される場合があります。					
3	2) 表示されたメンテナンス価格は基準価格のみで、標準的なサービス・レベルの価格になります。					
4						
5	PN	説明	単価	数量	合計価格	フラグ
6		国 = United States			USD	
7		構成全体			66,960.00	
8						
9		Blade_2185	5,183.00	8	41,464.00	
10	7875AC1	IBM BladeCenter HS23	0.00	8	0.00	
11	A241	Intel Xeon Processor E5-2670 8C 2.6GHz 20MB Cache 1600MHz 115W	2,295.00	8	18360	
12	A0WZ	4GB (1x4GB, 2Rx8, 1.35V) PC3L-10600 CL9 ECC DDR3 1333MHz VLP RDIMM	145.00	16	2320	
13	A1RL	System Documentation and Software-US English	0.00	8	0	
14	1593	SAS Connectivity Card (CIOv) for IBM BladeCenter	249.00	8	1992	
15	A1RG	HS23 Blade Base	1,909.00	8	15272	
16	9012	No Internal RAID	0.00	8	0	
17	67567Y7	3 Year Onsite Repair 24x7 4 Hour Response	440.00	8	3520	
18	A1RJ	CPU Heat Sink Filler	0.00	8	0	
19	A1RH	Blade Cover	0.00	8	0	
20						
21						
22		BladeCenter_2185	6,482.00	1	6,482.00	
23	8952HC1	IBM BladeCenter HS23 Blade Chassis Base Model	0.00	1	0.00	

- これは、フィーチャー・コード (FC) の XLS 出力ファイルの「リファレンス」タブの表示です。現在、この FC 出力は、Lenovo が製品のフルフィルメントを行う目的で使用されています。また、Lenovo のフルフィルメントのために、「エクスポート」の CFR も必要となります。この XLS 出力は、お客様への提案の用途で使用できます。

x-config – XCC XLS 出力

	A	B	C	D	E	F
1	MT_ModelX	フィーチャー ・コード	説明	数量		
2	CFR_Rack_1_1		x-config_ID: 40390R01			
3						
4	885ZHC1			1		
5		2142	BladeCenter 2980W Initial Power Supply for Bays 1 or 2(Quantity=1)	2		
6		A3K8	BladeCenter H 2980W Base Refresh	1		
7		2144	Code GBM	1		
8		A3K5	System Documentation and Software- US English	1		
9		U9b1	Switch Module Filler	7		
10		U90b	Optical Blank Bezel	1		
11		U919	Double Bay High Speed Filler Panel	2		
12		U92U	Power Module Filler	2		
13		b22b	2.8m 200-240V Triple 1ba IEC 320-C20 (WW) Power Cable for BCH	2		
14		2300	BladeCenter Chassis Configuration	1		
15		8971	Integrate in manufacturing	1		
16		230b	Rack Installation >1U Component	1		
17		3301	BladeCenter 01	1		
18		8077	Integrate BladeCenter in Manufacturing	1		
19		8072	General Racking Solution	1		
20		3101	Install in Rack U1	1		
21		3201	Rack location U01 に取り付ける	1		
22						
23	885ZHC1			1		
24		2142	BladeCenter 2980W Initial Power Supply for Bays 1 or 2(Quantity=1)	2		
25		A3K8	BladeCenter H 2980W Base Refresh	1		
26		2144	Code GBM	1		
27		A3K5	System Documentation and Software- US English	1		
28		U9b1	Switch Module Filler	7		
29		U90b	Optical Blank Bezel	1		
30		U919	Double Bay High Speed Filler Panel	2		
31		U92U	Power Module Filler	2		
32		b22b	2.8m 200-240V Triple 1ba IEC 320-C20 (WW) Power Cable for BCH	2		
33		2300	BladeCenter Chassis Configuration	1		
34		8971	Integrate in manufacturing	1		
35		230b	Rack Installation >1U Component	1		
36		3302	BladeCenter 02	1		
37		8077	Integrate BladeCenter in Manufacturing	1		
38		8072	General Racking Solution	1		
39		3101	Install in Rack U1	1		
40		3210	Rack location U10 に取り付ける	1		
41						
42	7875AC1			1		
43		802b	No HDD selected	1		
44		A1K6	HS23 Blade Base	1		

■ これは、XCC XLS 出力ファイルの「CFR レビュー」タブの表示です。これは、ソリューションを検証するのに使用できます。

頭字語

- CTO - Configure To Order
- GAV - Generally Announced Variant
- SOVA - Single Order Validation Application
- FC - フィーチャー・コード (Feature Code)
- PN - パーツ・ナンバー (Part Number)
- HVEC - High Volume Easily Configured Pipeline
- XCC - XCCelerator Pipeline
- SBB - Sales Building Block

x-config のリソース

- すべてのユーザー: [System x and Cluster Solutions configurator \(x-config\)](#)
- トレーニングの窓口: wluken@lenovo.com
- エラーの報告と改善の提案: erchelp@ca.ibm.com

- x-config のインストールへのリンク
 - <https://www.ibm.com/products/hardware/configurator/americas/bhui/asit/>

ありがとうございました